

第9次高齢者保健福祉計画・第8期介護保険事業計画 各事業の実績と評価「総括表」

【目標値があり、実績を把握できている事業について】

基本方針の施策群別に、達成率の印「◎○△▲」を集計。「◎○」の割合により評価を行った。

(達成率の印とその評価の目安)

◎…計画目標値を達成又は上回っており、着実に計画が進んでいる(達成率100%以上)

○…ほぼ計画目標値を達成し、このまま計画を進めていく(達成率90%~100%)

△…達成率が計画目標値に達していないものがあり、さらなる計画の推進が必要(達成率50%~90%)

▲…達成率が計画目標値に達していないものがあり、今後事業見直しも含めた計画の推進が必要(達成率50%以下)

【目標値なしの事業について】

基本方針の施策群別に、「◎○△▲」の印を用い定性的に評価を実施した。

【施策群の評価について】

「目標値あり」の各事業の達成率(%)について、施策群ごとの平均値を算出し、上記の4つの基準「◎○△▲」によって評価を行った

基本方針	施策群	上段：施策群の評価 下段：達成率平均値			5年度実績 目標値あり					5年度実績 目標値なし
		3年度	4年度	5年度	事業数	◎	○	△	▲	
住まい	住宅の質の向上	△ 69.7%	△ 76.4%	△ 51.6%	3	0	0	1	2	◎
	多様な住まいの確保	◎ 206.0%	◎ 226.0%	◎ 190.0%	1	1	0	0	0	◎
	居住の支援の充実	△ 78.2%	○ 91.1%	◎ 108.4%	7	5	1	0	1	-
					11	6	1	1	3	

◎○の割合(◎○の数/事業数) 63.6 %

「住宅の質の向上」について、バリアフリー化等支援事業は予算が不足し目標値に達しなかったため、令和6年度は多くの市民が利用できるよう事業を改正し、目標達成に努める。

「多様な住まいの確保」について、親世帯・子育て世帯近居同居支援事業は目標値を大きく上回った。令和6年度からは対象者が一部変更となるが、引き続き目標を達成できるように努める。

「居住の支援の充実」について、住まいの講演会及びマイホーム借上げ制度説明会は、令和3年度については新型コロナウイルス感染症の影響で中止としたが、令和5年度には目標値に達することができた。また、住まいのサポート船橋については、目標値には届かなかったものの、同行支援を多く実施したことにより、成約件数は令和4年度から令和5年度にかけて約50%増加した。

第9次高齢者保健福祉計画・第8期介護保険事業計画 各事業の実績と評価「総括表」

【目標値があり、実績を把握できている事業について】

基本方針の施策群別に、達成率の印「◎○△▲」を集計。「◎○」の割合により評価を行った。

(達成率の印とその評価の目安)

◎…計画目標値を達成又は上回っており、着実に計画が進んでいる(達成率100%以上)

○…ほぼ計画目標値を達成し、このまま計画を進めていく(達成率90%~100%)

△…達成率が計画目標値に達していないものがあり、さらなる計画の推進が必要(達成率50%~90%)

▲…達成率が計画目標値に達していないものがあり、今後事業見直しも含めた計画の推進が必要(達成率50%以下)

【目標値なしの事業について】

基本方針の施策群別に、「◎○△▲」の印を用い定性的に評価を実施した。

【施策群の評価について】

「目標値あり」の各事業の達成率(%)について、施策群ごとの平均値を算出し、上記の4つの基準「◎○△▲」によって評価を行った

基本方針	施策群	上段：施策群の評価 下段：達成率平均値			5年度実績 目標値あり					5年度実績 目標値なし
		3年度	4年度	5年度	事業数	◎	○	△	▲	
予防	活動の場の提供	△ 62.8%	△ 78.0%	△ 87.8%	16	4	3	9	0	-
	健康づくりへの支援	△ 53.6%	△ 52.8%	△ 66.3%	9	3	0	2	4	-
	介護予防の推進	△ 78.0%	△ 66.2%	△ 80.8%	8	3	2	1	2	△
					33	10	5	12	6	

◎○の割合(◎○の数/事業数) 45.5 %

「活動の場の提供」では、新型コロナウイルス感染症の影響により、ふなばしシルバーリハビリ体操の指導士養成講座など中止となった事業があった。体操指導士養成講座の開催数を含むシルバーリハビリ体操関連の4事業については目標値を達成できなかったものの、新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行した令和5年度は、令和3年度、4年度に比べ実績が増加しており、引き続き目標を達成できるよう事業を推進していく。市民スポーツ教室は、令和4年度より指定管理制度に移行したことにより、対象者数が増加し目標値を達成できた。

「健康づくりへの支援」では、骨密度相談事業の終了により健康相談の件数が大幅な減少となった。栄養相談や在宅介護支援教室などは、新型コロナウイルス感染症の影響により規模を縮小して実施したことから低調な実績となったが、新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行した令和5年度は、令和4年度に比べて倍増している。市内飲食店等における健康的な食事提供による環境整備(ふなばしMOREベジ協力店推進事業)や健康ポイント事業など新型コロナウイルスの影響下でも取り組める事業は継続して実施し、市民の健康づくりへの支援につなげていた。

「介護予防の推進」では、介護予防ケアマネジメントの自立支援強化のための検討会議の開催数を集中化・効率化したことで総開催数は減少したものの、ケアマネジャーへの適切な助言を行えた。ふなばし市民大学の「いきいき学部」は、定員を見直したことに伴い学生数は減少したが講座数を増やして実施をすることができた。公民館の高齢者学級等も新型コロナウイルス感染症の影響により参加者数が減っていたが、新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行した令和5年度は、令和4年度に比べて増加した。健康スケール事業は新型コロナウイルス感染症の影響下においても、市民からの高い回答率を維持している。また健康スケールの回答結果を基に、ふなばしシルバーリハビリ体操などの一般介護予防事業について事業評価を実施し、分析結果を広報やホームページで周知し、一般介護予防事業の啓発に活用したほか、「市民ヘルスマーケティング」における根拠資料としても活用した。

第9次高齢者保健福祉計画・第8期介護保険事業計画 各事業の実績と評価「総括表」

【目標値があり、実績を把握できている事業について】

基本方針の施策群別に、達成率の印「◎○△▲」を集計。「◎○」の割合により評価を行った。

(達成率の印とその評価の目安)

◎…計画目標値を達成又は上回っており、着実に計画が進んでいる(達成率100%以上)

○…ほぼ計画目標値を達成し、このまま計画を進めていく(達成率90%~100%)

△…達成率が計画目標値に達していないものがあり、さらなる計画の推進が必要(達成率50%~90%)

▲…達成率が計画目標値に達していないものがあり、今後事業見直しも含めた計画の推進が必要(達成率50%以下)

【目標値なしの事業について】

基本方針の施策群別に、「◎○△▲」の印を用い定性的に評価を実施した。

【施策群の評価について】

「目標値あり」の各事業の達成率(%)について、施策群ごとの平均値を算出し、上記の4つの基準「◎○△▲」によって評価を行った

基本方針	施策群	上段：施策群の評価 下段：達成率平均値			5年度実績 目標値あり					5年度実績 目標値なし
		3年度	4年度	5年度	事業数	◎	○	△	▲	
生活支援	生活支援サービスの提供	○ 93.2%	○ 99.4%	◎ 106.9%	26	13	2	11	0	-
	移動支援	◎ 110.8%	◎ 135.5%	△ 89.9%	7	6	0	0	1	○
	地域での支え合い体制の確立	△ 59.4%	△ 75.9%	△ 85.9%	7	1	3	2	1	△
	その他	△ 65.6%	○ 94.6%	◎ 109.9%	16	13	1	1	1	△
					56	33	6	14	3	

◎○の割合(◎○の数/事業数) 69.6 %

集合・対面方式で実施する事業については、令和3・4年度は新型コロナウイルス感染症の影響で、中止せざるを得ないことが多く、目標を下回るが多かったが、令和5年5月に5類感染症に移行したことで、徐々に以前のように事業を実施できるようになり、目標を達成する割合が高くなった。

一方、生活・介護支援サポーターやファミリー・サポート・センター協力会員数、生活支援ボランティアなどは、かねてより高齢化の影響等で担い手確保が課題であったが、新型コロナウイルス感染症で活動できなかったことが拍車をかけ、さらに課題が深刻化している。

その他、施策群別にみると、「生活支援サービスの提供」については、移動販売支援事業・ふれあい収集事業が目標値を上回り、引き続きニーズの高さが伺える結果となった。

「移動支援」については、本計画期間中に、駅改札内外のバリアフリー化を4駅、バス待ち環境の改善を国・県・市道合わせて8か所で行った。高齢者支援協力バスの活用は、新型コロナウイルス感染症の影響が大きかった令和3年度の延利用者を除き、目標値を上回った。今後も利用者ニーズに合ったルート設定を行っていく。

「地域での支え合い体制の確立」については、新型コロナウイルス感染症や物価高騰の影響もあり、「保健と福祉の総合相談窓口 さーくる」に就労や収入面に問題を抱えた方からの相談が多く寄せられた。令和5年度に重層的支援体制整備事業を開始し、以前にも増して地域住民からの相談を幅広く受け止めるよう努めている。

第9次高齢者保健福祉計画・第8期介護保険事業計画 各事業の実績と評価「総括表」

【目標値があり、実績を把握できている事業について】

基本方針の施策群別に、達成率の印「◎○△▲」を集計。「◎○」の割合により評価を行った。

(達成率の印とその評価の目安)

◎…計画目標値を達成又は上回っており、着実に計画が進んでいる(達成率100%以上)

○…ほぼ計画目標値を達成し、このまま計画を進めていく(達成率90%~100%)

△…達成率が計画目標値に達していないものがあり、さらなる計画の推進が必要(達成率50%~90%)

▲…達成率が計画目標値に達していないものがあり、今後事業見直しも含めた計画の推進が必要(達成率50%以下)

【目標値なしの事業について】

基本方針の施策群別に、「◎○△▲」の印を用い定性的に評価を実施した。

【施策群の評価について】

「目標値あり」の各事業の達成率(%)について、施策群ごとの平均値を算出し、上記の4つの基準「◎○△▲」によって評価を行った

基本方針	施策群	上段：施策群の評価 下段：達成率平均値			5年度実績 目標値あり					5年度実績 目標値なし
		3年度	4年度	5年度	事業数	◎	○	△	▲	
介護	介護サービスの量の確保	—	—	—	0	0	0	0	0	○
	介護サービスの質の確保	△ 77.8%	△ 82.3%	○ 90.9%	9	5	0	1	3	-
	多様なサービスの提供	—	—	—	0	0	0	0	0	○
	地域包括支援センターの機能強化	△ 68.9%	◎ 101.5%	◎ 100.5%	9	5	2	2	0	○
	認知症対策の推進	△ 67.3%	△ 65.7%	△ 68.2%	18	5	1	4	8	○
	介護サービスの円滑な利用	△ 83.6%	△ 80.8%	○ 94.5%	13	6	4	2	1	○
					49	21	7	9	12	

◎○の割合(◎○の数/事業数) 57.1 %

「介護サービスの質の確保」では、介護人材の確保については、目標値を上回っており、計画通りに事業を実施できていると評価できる。また、訪問看護職員雇用促進事業についても、目標値を上回っており、概ね計画に沿って実施されている。

「地域包括支援センターの機能強化」では、在宅介護支援センターから地域包括支援センターへの移行については、相談件数が目標値を上回った。地域ケア会議の推進・地域課題への取り組みについては、令和3年度に新型コロナウイルス感染症の影響を受けつつも次年度には目標値を達成した。今後も引き続き相談窓口として周知を図り、認知度や浸透度を高めていく。

「認知症対策の推進」では、認知症初期集中支援チーム・認知症地域支援推進員の設置については、目標値を達成した。一方で、認知症カフェ運営補助金交付件数やチームオレンジ体制整備、認知症訪問支援サービス(市町村特別給付)の延利用件数については、新型コロナウイルス感染症の拡大が影響していると考えられ目標を下回っている。今後も引き続き制度の周知や体制整備を図っていく。

「介護サービスの円滑な利用」では、介護保険利用者負担助成事業など目標値を上回っている事業もある一方で、介護保険の出前講座の開催など、新型コロナウイルス感染症の影響で実施できず目標値を下回っている事業もあったが、令和5年度より新型コロナウイルス感染症が5類感染症の位置づけに移行したことに伴い、コロナ禍以前と同等の水準に回復しつつあるため、今後も地域住民や関係団体等から要望があった際には出前講座の実施を行っていく。

第9次高齢者保健福祉計画・第8期介護保険事業計画 各事業の実績と評価「総括表」

【目標値があり、実績を把握できている事業について】

基本方針の施策群別に、達成率の印「◎○△▲」を集計。「◎○」の割合により評価を行った。

(達成率の印とその評価の目安)

◎…計画目標値を達成又は上回っており、着実に計画が進んでいる(達成率100%以上)

○…ほぼ計画目標値を達成し、このまま計画を進めていく(達成率90%~100%)

△…達成率が計画目標値に達していないものがあり、さらなる計画の推進が必要(達成率50%~90%)

▲…達成率が計画目標値に達していないものがあり、今後事業見直しも含めた計画の推進が必要(達成率50%以下)

【目標値なしの事業について】

基本方針の施策群別に、「◎○△▲」の印を用い定性的に評価を実施した。

【施策群の評価について】

「目標値あり」の各事業の達成率(%)について、施策群ごとの平均値を算出し、上記の4つの基準「◎○△▲」によって評価を行った

基本方針	施策群	上段：施策群の評価 下段：達成率平均値			5年度実績 目標値あり					5年度実績 目標値なし
		3年度	4年度	5年度	事業数	◎	○	△	▲	
医療	在宅医療の推進	△ 56.8%	△ 72.2%	△ 72.3%	13	6	0	3	4	○
	地域医療連携の推進	—	○ 93.3%	—	0	0	0	0	0	—
	看護職の確保	◎ 117.8%	◎ 124.0%	◎ 152.6%	1	1	0	0	0	—
	地域リハビリテーションの推進	◎ 103.8%	◎ 160.3%	◎ 181.5%	2	2	0	0	0	—
	歯科口腔保健の推進	○ 94.3%	◎ 103.2%	◎ 101.1%	2	2	0	0	0	—
					18	11	0	3	4	

◎○の割合(◎○の数/事業数) 61.1 %

新型コロナウイルス感染症の影響により、縮小や中止となった事業もあったが、一部の研修会については、オンライン開催等、開催方法を工夫して事業の実施に努めた。事業の特性によってはオンライン開催も継続しつつ、徐々に対面での講習会や研修会の開催も再開した。

「在宅医療の推進」では、地域包括ケアシステムの根幹となる在宅医療・介護を市民へ普及するために、出前講座や在宅医療・介護連携推進事業である講演会・相談会・出張講演会を開催した。新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、Zoom等を活用していたが、徐々に対面開催も再開し、船橋在宅医療ひまわりネットワークの各委員会活動を行った。また、感染症拡大防止対策を講じたうえで、在宅医療・介護関係者の研修会等も実施した。さらに、在宅医療推進に係る市民への普及啓発として市民向けの講座であるふなぽーと市民公開講座についても開催することができた。

「船橋市在宅医療・緩和ケア・リハビリテーション提供機関マップ“ひまわりマップ”」については、毎年度作成し、医療・介護関係者に配布を行った。

「地域医療連携の推進」では、かかりつけ医等について、新型コロナウイルス感染症の状況を注視しながら、イベントや講演会等でチラシを配布した。令和5年度は、かかりつけ医を持つことについて推奨する動画を市内複数箇所のデジタルサイネージにて放映する等、新たな周知方法も取り入れつつ、積極的に普及・啓発を行った。

「看護職の確保」については、今後も、看護職復職支援研修会にて潜在看護師の復職に向けた支援を行い、看護師等養成修学資金にて市内の医療機関や介護施設といった指定施設への就職を目指す看護学生の支援を行うことで市内の看護師の充足を目指す。介護保険訪問看護職員雇用促進事業は、賃金改善にかかる費用を助成し、目標値を達成したが、高齢者の人口増加に伴い、需要が高まることが予想されるため、今後は拡大して補助を実施していく。

「地域リハビリテーションの推進」については、新型コロナウイルス感染症拡大防止策を徹底しつつ、目標値を達成できていた。引き続き、地域リハビリテーション拠点事業として、リハビリ関係者向け地区勉強会、リハビリ関係者向け研究大会、市民向け講演会を開催し、地域リハビリテーションの推進を図っていく。

「歯科口腔保健の推進」については、新型コロナウイルス感染症の影響により、規模を縮小していたが、令和5年度は縮小前の規模に戻して実施ができた。引き続き口腔ケア講習会や市民講演会を通じて、口腔ケアの重要性についてさらなる周知を図っていく。また、訪問歯科診療(さざんか・かざぐるま)事業についても情報提供や診療所の周知を図っていく。

総事業	事業数	◎	○	△	▲
	167	81	19	39	28

◎○の割合(◎○の数/事業数) 59.9 %

全体

住み慣れた地域で、安心して暮らせる住環境の整備

					達成率について									【第8期】評価					
					◎ …計画目標値を達成又は上回っており、着実に計画が進んでいる(達成率100%以上)									第9期以降の方向性については 「△ 拡大」「→ 現状維持」「▽ 縮小」「× 廃止」					
					○ …ほぼ計画目標値を達成し、このまま計画を進めていく(達成率90%~100%)									第9期以降の方向性					
					△ …達成率が計画目標値に達していないものがあり、さらなる計画の推進が必要(達成率50%~90%)									第8期における取組み・検討課題などの評価を記入 ※目標値を変更した場合は、その理由と算出根拠を記入					
					▲ …達成率が計画目標値に達していないものがあり、今後事業見直しも含めた計画の推進が必要(達成率50%以下)									第8期以降の方向性					
No	施策群	所管課	施策名 ★は重点項目	指標		【第8期】計画目標			【第8期】実績						【第8期】達成率				
						令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和3年度	達成率 (実績/目標値)	令和4年度	達成率 (実績/目標値)	令和5年度	達成率 (実績/目標値)	令和3年度	令和4年度	令和5年度		
1	住宅の質の向上	住宅政策課	★自立支援のための住宅のバリアフリー化等の支援	住宅バリアフリー化等支援事業助成件数	件	200	200	200	83	41.5%	155	77.5%	79	39.5%	▲	△	▲	→	福祉ガイド等を通じて支援事業の周知を行った。断熱改修の件数が増えたことで、1件あたりの平均助成額が増加したことにより、早期に予算上限額に達し、受付を終了したことから、助成件数が減少した。
2		住宅政策課	★分譲マンションの共用部分のバリアフリー化等の支援	分譲マンション共用部分バリアフリー化等支援事業助成件数	件	10	10	10	7	70.0%	7	70.0%	4	40.0%	△	△	▲	→	福祉ガイド等を通じて支援事業の周知を行った。目標件数に達しなかったことから、引き続きHP等で周知を行っていく必要がある。
3		高齢者福祉課	高齢者住宅改造費助成事業	助成件数	件	130	136	141	127	97.7%	111	81.6%	106	75.2%	○	△	△	→	第8期はやや減少傾向だが、高齢者数は増加しているため、今後も動向を注視しながら対応する。
4	多様な住まいの確保	住宅政策課	★親世帯・子育て世帯近居同居の支援	親世帯・子育て世帯近居同居支援事業助成件数	件	50	50	50	103	206.0%	113	226.0%	95	190.0%	◎	◎	◎	→	ホームページ等を通じて支援事業の周知を行った。助成件数について、大幅に目標件数を超えることができた。
5	居住の支援の充実	住宅政策課	★高齢者の住まいに関する情報提供	住まいの講演会参加人数	人	50	50	50	0	0.0%	27	54.0%	61	122.0%	▲	△	◎	→	令和5年11月24日に住まいの講演会を開催した。昨年度の参加者27名から大幅に増加し、目標を達成した。引き続き目標を達成できるよう、周知を行っていく。
6		住宅政策課	★持ち家の活用	マイホーム借上げ制度説明会参加人数	人	50	50	50	0	0.0%	27	54.0%	61	122.0%	▲	△	◎	→	令和5年11月24日にマイホーム借上げ制度説明会を開催した。昨年度の参加者27名から大幅に増加し、目標を達成した。引き続き目標を達成できるよう、周知を行っていく。
7		住宅政策課	★高齢者の住み替え支援	高齢者住み替え支援事業助成件数	件	13	13	13	18	138.5%	19	146.2%	13	100.0%	◎	◎	◎	→	福祉ガイド等を通じて支援事業の周知を行った。助成件数について、目標件数を達成することができた。
8		高齢者福祉課	★ひとり暮らし高齢者の見守り	緊急通報装置設置台数	台	2,014	2,083	2,146	2,007	99.7%	2,075	99.6%	2,126	99.1%	○	○	○	→	高齢者数の増加に併せて増加傾向なので、今後も動向を注視しながら対応する。
9		高齢者福祉課		声の電話訪問事業実利用者数	人	63	65	67	73	115.9%	81	124.6%	88	131.3%	◎	◎	◎	→	ひとり暮らし高齢者の増加に併せて増加傾向である。
10		高齢者福祉課		声の電話訪問事業訪問回数	回	3,282	3,387	3,491	4,372	133.2%	4,440	131.1%	4,920	140.9%	◎	◎	◎	→	利用者の増加に併せて訪問回数も大幅に増加している。
11	住宅政策課 地域包括ケア推進課	★居住支援サービスの向上	「住みいるサポート船橋」による賃貸物件成約件数	件	40	60	60	24	60.0%	17	28.3%	26	43.3%	△	▲	▲	→	居住支援協議会の事務局である市社会福祉協議会に対し、運営費補助を行った。「住みいるサポート船橋」による賃貸物件成約件数については、令和4年度の17件と比較すると、約50%増加した。	

介護予防の推進で“健康寿命日本一のまち”

					達成率について														
					◎ …計画目標値を達成又は上回っており、着実に計画が進んでいる(達成率100%以上)						第9期以降の方向性については 「△ 拡大」「→ 現状維持」「▽ 縮小」「× 廃止」								
					○ …ほぼ計画目標値を達成し、このまま計画を進めていく(達成率90%~100%)						【第8期】評価								
					△ …達成率が計画目標値に達していないものがあり、さらなる計画の推進が必要(達成率50%~90%)						第9期以降の方向性								
					▲ …達成率が計画目標値に達していないものがあり、今後事業見直しも含めた計画の推進が必要(達成率50%以下)						第8期における取組み・検討課題などの評価を記入 ※目標値を変更した場合は、その理由と算出根拠を記入								
No	施策群	所管課	施策名 ★は重点項目	指標	【第8期】計画目標			【第8期】実績						【第8期】達成率					
					令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和3年度	達成率 (実績/目標値)	令和4年度	達成率 (実績/目標値)	令和5年度	達成率 (実績/目標値)	令和3年度	令和4年度	令和5年度			
12				シルバーリハビリ体操指導士養成講座開催数	回	6	1	3	1	16.7%	0	0.0%	2	66.7%	▲	▲	△	↗	新型コロナウイルス感染症の影響により、令和3年度、4年度は講習会がほとんど開催できず、新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行した令和5年度は、再開できたものの計画どおりには実施できなかった。 第9期以降は北部地区にも講習会場を設け、市民が参加しやすい環境を整えて、開催数を増やしていく。
13				シルバーリハビリ体操指導士養成数	人	180	30	90	31	17.2%	3	10.0%	67	74.4%	▲	▲	△	↗	新型コロナウイルス感染症の影響により、令和3年度、4年度は講習会がほとんど開催できず、新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行した令和5年度は、再開できたものの計画どおりには養成できなかった。 第9期以降は北部地区にも講習会場を設け、市民が参加しやすい環境を整えて、指導士養成数の増加を図る。
14		健康づくり課	★ふなばしシルバーリハビリ体操の推進	シルバーリハビリ体操延指導士数	人	910	791	854	761	83.6%	764	96.6%	831	97.3%	△	○	○	↗	第8期は新型コロナウイルス感染症の影響により、指導士養成数が計画どおり増えなかったほか、体操事業から離れる指導士もいたため、計画どおりの延指導士数とならなかった。 第9期以降は、指導士養成数の増加を図るほか、指導士に対するフォローアップにも留意して、延指導士数の増加を図る。
15				シルバーリハビリ体操延上級指導士数	人	10	10	15	10	100.0%	10	100.0%	10	66.7%	◎	◎	△	→	第8期は体操事業全体の新型コロナウイルス感染症の影響からの回復を優先させたため、上級指導士の追加養成はできなかった。第9期は追加養成を図る。
16				シルバーリハビリ体操指導士により開催される延体操教室数	か所	115	92	110	49	42.6%	60	65.2%	75	68.2%	▲	△	△	→	新型コロナウイルス感染症の影響により、指導士主催の体操教室数も大きく減り、新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行した令和5年度は回復傾向にあるものの、コロナ前(令和元年度)の水準には戻らなかった。 第9期は指導士主催の体操教室がコロナ前の水準と同等以上に増えるように開催支援を強化する。
17	活動の場の提供	地域保健課	★公園を活用した健康づくり事業の実施	公園を活用した健康づくり事業実施公園数	か所	46	40	44	34	73.9%	38	95.0%	43	97.7%	△	○	○	↗	広報ふなばしやふなばし健康まつりをはじめ、市民が集まる場を利用して事業の周知を行い、概ね目標としていた実施公園数を達成できた。協力団体からの紹介やロコミによる周知効果が大きく、事業実施公園数の増加に向けて、関係機関等に事業説明に向く等、アプローチを続けていく。 参加者や協力員の高齢化による後継者不足は課題となっており、若い世代への周知と、協力員の負担が少なく事業継続できる方法を検討していく。
18		高齢者福祉課	老人福祉センター	延年間利用者数	人	355,000	355,000	210,000	146,181	41.2%	193,838	54.6%	201,588	96.0%	▲	△	○	→	指定管理者による管理運営を行うとともに、指導、監督を行い、高齢者が利用しやすい環境整備に努めた。 新型コロナウイルス感染症の影響により実施していたクラブや各種事業の利用中止や人数制限を徐々に解除していき、令和5年5月からは制限なく事業を行った。 今後は利用者を増やすため、老人福祉センターの施設情報や介護予防に関する取組みなどを周知をしていく。
19				施設数	か所	35	34	32	35	100.0%	34	100.0%	32	100.0%	◎	◎	◎	→	高齢者の親睦のために利用しやすい環境の維持・管理に努める。 【R4目標の変更】 民設の家1か所について、所有者の意向によりR3年度末で閉鎖した。 【R5目標の変更】 民設の家2か所について、所有者の意向によりR4年度末で閉鎖した。
20		高齢者福祉課	老人憩の家	延年間利用者数	人	46,000	45,000	42,500	5,947	12.9%	19,435	43.2%	22,454	52.8%	▲	▲	△	→	新型コロナウイルス感染症の影響による利用控えや老人クラブ等利用団体の減少により利用者数が減少したが、高齢者の親睦のために利用しやすい環境の維持・管理に努める。 【R4目標の変更】 民設の家1か所について、所有者の意向によりR3年度末で閉鎖した。 【R5目標の変更】 民設の家2か所について、所有者の意向によりR4年度末で閉鎖した。

介護予防の推進で“健康寿命日本一のまち”

					達成率について									第9期以降の方向性						
					◎ …計画目標値を達成又は上回っており、着実に計画が進んでいる(達成率100%以上)									第9期以降の方向性については「△ 拡大」「→ 現状維持」「▽ 縮小」「× 廃止」						
					○ …ほぼ計画目標値を達成し、このまま計画を進めていく(達成率90%~100%)															
					△ …達成率が計画目標値に達していないものがあり、さらなる計画の推進が必要(達成率50%~90%)															
					▲ …達成率が計画目標値に達していないものがあり、今後事業見直しも含めた計画の推進が必要(達成率50%以下)															
No	施策群	所管課	施策名 ★は重点項目	指標		【第8期】計画目標			【第8期】実績						【第8期】達成率			【第8期】評価		
						令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和3年度	達成率 (実績/目標値)	令和4年度	達成率 (実績/目標値)	令和5年度	達成率 (実績/目標値)	令和3年度	令和4年度	令和5年度	第9期以降の方向性	第8期における取組み・検討課題などの評価を記入 ※目標値を変更した場合は、その理由と算出根拠を記入	
21	活動の場の提供	高齢者福祉課	老人クラブ	クラブ数	クラブ	236	236	236	233	98.7%	212	89.8%	207	87.7%	○	△	△	→	新型コロナウイルス感染症の影響による活動の縮小や、役員の成り手不足に伴う解散によりクラブ数が減少となったが、老人クラブ活動が活発に行われるよう支援していく。	
22				会員数	人	12,000	12,000	12,000	10,980	91.5%	9,749	81.2%	9,184	76.5%	○	△	△	→	新型コロナウイルス感染症の影響による活動の縮小や、会員の高齢化に伴う退会により会員数が減少となったが、老人クラブ活動が活発に行われるよう支援していく。	
23		高齢者福祉課	老人生きがい広場	施設数	か所	5	5	5	5	100.0%	5	100.0%	5	100.0%	◎	◎	◎	→	利用人数や稼働率を考慮し、ゲートボール場の適切な配置に努める。	
24				延利用者数	人	11,000	11,000	11,000	9,245	84.0%	8,544	77.7%	7,051	64.1%	△	△	△	→	新型コロナウイルス感染症の影響による利用控えや競技人口の減少により利用者数が減少したが、高齢者の健康の維持・増進と親睦を図れるよう、利用しやすい環境の維持・管理に努める。	
25				高齢者いきいき健康教室	実参加高齢者数	人	750	750	750	224	29.9%	366	48.8%	442	58.9%	▲	▲	△	→	新型コロナウイルス感染症の影響により、会場数や定員を縮小しての実施となったが、教室の周知を行い、事業を継続して行く。 【R3目標の変更】 目標設定後に4教室廃止となったため。
26		生涯スポーツ課	市民スポーツ教室	教室数	教室	9~10	100	100	6	60.0%	131	131.0%	139	139.0%	△	◎	◎	→	令和4年度より市主催のスポーツ教室から指定管理者の自主事業に移行となったことから、多くの方に参加いただき、目標達成率が高くなった。引き続き指定管理者へ教室の実施を働きかけるとともに、教室の周知を行っていく。	
27				延利用者数	人	1,300	50,000	50,000	679	52.2%	77,175	154.4%	79,580	159.2%	△	◎	◎	→	令和4年度より市主催のスポーツ教室から指定管理者の自主事業に移行となったことから、多くの方に参加いただき、目標達成率が高くなった。	
28	健康づくり課	★特定健康診査受診率、特定保健指導実施率の向上及び健診結果の活用、セルフマネジメント支援	特定健康診査受診率	%	56	58	60	42.0	75.0%	41.9	72.2%	令和6年10月末に確定予定(国報告の集計値)	-	△	△	-	→	目標達成に向け、AI(人工知能)を活用した受診勧奨や、医療機関(医師)からの受診勧奨を行い、受診率の向上を図った。		
29			特定保健指導実施率	%	50	55	60	28.2	56.4%	30.2	54.9%	令和6年10月末に確定予定(国報告の集計値)	-	△	△	-	→	対象者の生活背景に合わせて自宅近くの公民館やオンライン等での面接を行うなど特定保健指導の実施率の向上に努めた。		
30	健康づくりへの支援	地域保健課	★市内飲食店等における健康的な食事提供による食環境の整備	市民の健康づくり支援に取り組む飲食店等店舗数	店舗	100	100	100	104	104.0%	105	105.0%	109	109.0%	◎	◎	◎	↗	SNSや食育展、ふなばし健康まつり等で登録店をPRし、事業の普及を図った。また、9月の「食生活改善普及運動」期間に登録店に対し、「野菜摂取の増加」の推進のため「毎日プラス1皿の野菜」の啓発媒体を送付し、市民への野菜摂取及び事業の周知協力を依頼した。さらに、幼児健診対象家庭に周知チラシを配布した。市民への普及が課題であり、協力店と食育関係各課、学校、関係団体等との連携による事業展開等を検討し、進めていきたい。	
31		地域保健課	栄養相談	栄養相談利用者数	人	800	800	800	94	11.8%	98	12.3%	207	25.9%	▲	▲	▲	→	令和4年度に比べ相談者が増え、より多くの市民に個別の状況に合わせた栄養指導が行うことができた。今後も市民の需要に応じた栄養相談の実施を継続する。	
32		地域保健課	成人期の歯科健康診査の実施	成人歯科健康診査受診率	%	9	9	9	6.6	73.3%	6.4	71.1%	5.9	65.6%	△	△	△	→	SNSを活用して周知を図ったが受診率は減少傾向にある。かかりつけ歯科医の普及が進んでいるとも想定されるが、歯・口腔の健康状態を確認する機会として歯科医師会と連携し、継続して実施する。	

介護予防の推進で“健康寿命日本一のまち”

						達成率について									【第8期】評価					
						◎ …計画目標値を達成又は上回っており、着実に計画が進んでいる(達成率100%以上)									第9期以降の方向性については 「△ 拡大」「→ 現状維持」「▽ 縮小」「× 廃止」					
						○ …ほぼ計画目標値を達成し、このまま計画を進めていく(達成率90%~100%)									【第8期】評価					
						△ …達成率が計画目標値に達していないものがあり、さらなる計画の推進が必要(達成率50%~90%)									第9期以降の方向性					
						▲ …達成率が計画目標値に達していないものがあり、今後事業見直しも含めた計画の推進が必要(達成率50%以下)									第8期における取組み・検討課題などの評価を記入 ※目標値を変更した場合は、その理由と算出根拠を記入					
No	施策群	所管課	施策名 ★は重点項目	指標		【第8期】計画目標			【第8期】実績						【第8期】達成率					
						令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和3年度	達成率 (実績/目標値)	令和4年度	達成率 (実績/目標値)	令和5年度	達成率 (実績/目標値)	令和3年度	令和4年度	令和5年度			
33	健康づくりへの支援	地域保健課	★健康ポイント事業	参加者数	人	8,900	12,000	12,900	11,102	124.7%	12,128	101.1%	14,177	109.9%	◎	◎	◎	↗	広報ふなばしに加え、包括連携協定を締結している企業でのチラシ配布や、健康づくり課事業の発送物での健康ポイント事業掲載等の周知活動を行い、参加者数の目標を達成することができた。 全体の参加者数の目標は達成することができたが、働き世代の参加者数は高齢者世代に比べ少ない状況が続いているため、事業所単位の登録促進を強化していく。	
34		健康づくり課	後期高齢者健康診査	後期高齢者健康診査受診率	%	49.5	50.5	51.5	45.4	91.7%	46.2	91.5%		-	○	○	-	→	目標達成に向け、健診未受診者の受診のきっかけとなるよう人間ドック及び脳ドック費用助成により、受診率の向上を図った。	
35		高齢者福祉課	高齢者健やか活動支援事業	開催回数	回	4	4	4	2	50.0%	2	50.0%	4	100.0%	△	△	◎	→	令和3年度、令和4年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、開催回数が減少したが、令和5年度は新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴い、目標値と同数の実績となった。今後も市内老人クラブ等への周知を図る。	
36				延参加人数	人	250	250	250	24	9.6%	37	14.8%	106	42.4%	▲	▲	▲	→	新型コロナウイルス感染症の影響により、1回あたりの規模を抑えての開催となったことから参加人数は減少したが、今後も市内老人クラブ等への周知を図る。	
37		地域保健課	健康教育	健康教育利用者数	人	13,000	13,000	13,000	1,958	15.1%	3,523	27.1%	5,972	45.9%	▲	▲	▲	→	教育事業の参加人数のを平時に戻し、健康教育を実施した。今後も参加人数を増やしていくために、SNS等も活用し、周知していく。	
38		地域保健課	健康相談	健康相談利用者数	人	10,000	7,000	7,100	1,566	15.7%	512	7.3%	3,140	44.2%	▲	▲	▲	→	令和5年度は新型コロナウイルス感染症が5類となり、地域での健康相談が徐々に再開してきた。今後は保健センターの窓口や健康教育等活動の中で健康相談を実施していく。また、SNS相談も一つの相談先のツールであることから、活用を促していく。 【目標変更】 令和3年度で骨密度健康相談が終了したため、約3,000人の目標値を下方修正した。	
39		地域包括ケア推進課	在宅介護支援教室	開催回数	回	85	80	80	14	16.5%	21	26.3%	43	53.8%	▲	▲	△	→	地域によって開催回数に差がある。引き続き、介護予防の推進及び在宅介護支援の充実、センターの周知を図るため、教室を実施していく。	
40		介護予防の推進	地域包括ケア推進課	★介護予防ケアマネジメントにおける自立支援の推進	検討会議事例数	事例	144	144	144	67	46.5%	35	24.3%	36	25.0%	▲	▲	▲	→	令和4年度から生活支援コーディネーターが助言者として加わり、事例対象者の自立支援・社会参加に向けて掘り下げについても行えるようになった。併せて、1事例を計画当初より、深く検討していくために、開催頻度等の見直しを行い、年間の最大事例数を72件とした。(3事例×2回/月×12か月)助言者と担当のケアマネジャーにおいても、検討した事例についての自立支援・社会参加に向けた意見交換を行っている。参加したケアマネジャーからは新たな気づきや専門的知見を得られた等の感想を得ており、助言者からも他職種の視点を学べると好評である。令和5年度からは、要支援のプランを委託している市内居宅介護支援事業所のケアマネジャーも参加している。
41			社会教育課	ふなばし市民中学校「いきいき学部」	実学生数	人	370	270	270	276	74.6%	236	87.4%	268	99.3%	△	△	○	→	入学した学生は概ね修了まで活動することができた。今後も引き続き修了まで活動できるようサポートを行っていく。
42	延講座数				件	350	350	350	284	81.1%	324	92.6%	336	96.0%	△	○	○	→	今後も社会情勢や学生のニーズを捉え、カリキュラムを作成し、講座を実施していく。	

介護予防の推進で“健康寿命日本一のまち”

達成率について
 ◎ …計画目標値を達成又は上回っており、着実に計画が進んでいる(達成率100%以上)
 ○ …ほぼ計画目標値を達成し、このまま計画を進めていく(達成率90%~100%)
 △ …達成率が計画目標値に達していないものがあり、さらなる計画の推進が必要(達成率50%~90%)
 ▲ …達成率が計画目標値に達していないものがあり、今後事業見直しも含めた計画の推進が必要(達成率50%以下)

第9期以降の方向性については
 「▲ 拡大」「→ 現状維持」「△ 縮小」「× 廃止」

No	施策群	所管課	施策名 ★は重点項目	指標		【第8期】計画目標			【第8期】実績						【第8期】達成率			【第8期】評価	
						令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和3年度	達成率 (実績/目標値)	令和4年度	達成率 (実績/目標値)	令和5年度	達成率 (実績/目標値)	令和3年度	令和4年度	令和5年度	第9期以降 の方向性	第8期における 取組み・検討課題 などの評価を記入 ※目標値を変更した 場合は、その理由と 算出根拠を記入
43	介護予防の 推進	中央公民館	公民館の高齢者対象講座	高齢者学級数	学級	26	26	26	26	100.0%	26	100.0%	26	100.0%	◎	◎	◎	→	計画の進捗状況及び市民からの要望を踏まえ、継続して事業を実施していく。
44				高齢者対象講座数	講座	70	72	74	71	101.4%	57	79.2%	84	113.5%	◎	△	◎	→	計画の進捗状況及び市民からの要望を踏まえ、継続して事業を実施していく。
45				高齢者学級の実参加者数	人	3,900	3,900	3,900	1,672	42.9%	1,920	49.2%	2,420	62.1%	▲	▲	△	→	令和3年度及び4年度は新型コロナウイルス感染症の影響があり参加者が減っていたが、令和5年度にはコロナの影響もほとんどなくなり各公民館の高齢者学級の募集人員をコロナ前にもどすなど実施した。しかしながら、徐々にではあるが増えてきたものの結果的に参加者数は目標数に至らなかった。
46				高齢者対象講座の実参加者数	人	4,900	5,040	5,180	5,508	112.4%	615	12.2%	2,548	49.2%	◎	▲	▲	→	令和3年度から4年度にかけて参加者数の実績を延べ人数から実人数修正した結果、かなり人数には差が出た。またこの2年間は新型コロナウイルス感染症が影響している。令和5年度にはコロナの影響もほとんどなくなり各公民館の高齢者対象講座の回数も増やし参加者数は徐々にではあるが増えてきたものの結果的に目標数には至らなかった。
47		地域福祉課	活動拠点整備事業	拠点での事業実施回数	回	1,711	1,711	1,711	1,119	65.4%	1,450	84.7%	1,728	101.0%	△	△	◎	↗	令和3年度・4年度は新型コロナウイルスの影響により、活動が自粛されたため目標を達成することが出来なかった。しかし、令和5年度は新型コロナウイルス感染症が5月に5類感染症に移行し、徐々にコロナ禍以前に近い事業が実施できるようになり、目標を達成することが出来た。

助け合い活動などの支援体制づくりの推進

						【第8期】計画目標			【第8期】実績						【第8期】達成率			【第8期】評価		
						令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和3年度	達成率 (実績/目標値)	令和4年度	達成率 (実績/目標値)	令和5年度	達成率 (実績/目標値)	令和3年度	令和4年度	令和5年度	第9期以降 の方向性	第8期における取組み・検討課題などの評価を記入 ※目標値を変更した場合は、その理由と算出根拠を記入	
						達成率について ◎ …計画目標値を達成又は上回っており、着実に計画が進んでいる(達成率100%以上) ○ …ほぼ計画目標値を達成し、このまま計画を進めていく(達成率90%~100%) △ …達成率が計画目標値に達していないものがあり、さらなる計画の推進が必要(達成率50%~90%) ▲ …達成率が計画目標値に達していないものがあり、今後事業見直しも含めた計画の推進が必要(達成率50%以下)													第9期以降の方向性については 「▲ 拡大」「→ 現状維持」「△ 縮小」「× 廃止」	
No	施策群	所管課	施策名 ★は重点項目	指標		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和3年度	達成率 (実績/目標値)	令和4年度	達成率 (実績/目標値)	令和5年度	達成率 (実績/目標値)	令和3年度	令和4年度	令和5年度	第9期以降 の方向性	第8期における取組み・検討課題などの評価を記入 ※目標値を変更した場合は、その理由と算出根拠を記入	
48	生活支援サービスの提供	商工振興課	★移動販売支援事業	移動スーパーの累計延利用者数	人	13,000	14,000	15,000	32,288	248.4%	30,972	221.2%	28,468	189.8%	◎	◎	◎	→	イオン高根木戸店のほか、フードスクエアカスミ咲が丘店、とくし丸(ベルクフォルテ津田沼店、リブレ京成アルビス前原店、リブレ京成エポカ高根台店)、株式会社ホエル(株式会社セブン-イレブン・ジャパン)と連携し、移動販売事業を実施することで、買い物困難地域への対応を行った。今後も地域から移動販売の巡回要望があった場合には、事業者と協議のうえ販売ルートの見直しを検討する。	
49		高齢者福祉課	★生活・介護支援サポーター事業	サポーター登録人数	人	360	360	360	286	79.4%	262	72.8%	253	70.3%	△	△	△	→	年2回のサポーター養成講座を行ったが、既存のサポーターが高齢や体調不良で登録抹消となり、減少傾向となった。サポーターを増やす方法について検討する。	
50					利用登録者数(高齢者宅)	人	589	617	641	547	92.9%	536	86.9%	512	79.9%	○	△	△	→	近年減少が続いている。登録してもサポーターがおらず利用待機になってしまうことが大きな要因として挙げられる。サポーターを増やし利用を促進する必要がある。
51					実利用者数	人	580	580	580	428	73.8%	388	66.9%	375	64.7%	△	△	△	→	近年減少が続いているため、援助員を増やし、利用を促進する方法について検討する。
52					派遣時間数	時間	15,000	15,000	15,000	13,266	88.4%	12,276	81.8%	11,919	79.5%	△	△	△	→	近年減少が続いている。登録しても援助員がおらず利用待機になってしまうことから、派遣時間が減少していると考えられる。援助員を増やし利用を促進する必要がある。
53					実利用会員数	人	690	690	690	741	107.4%	597	86.5%	569	82.5%	◎	△	△	→	近年減少が続いている。類似事業のうち、利用料が最も高い事業であるが、協力会員数は一定数確保できているため、事業の周知方法について検討する。
54					実協力会員数	人	180	180	180	159	88.3%	180	100.0%	169	93.9%	△	◎	○	→	令和4年度から令和5年度は-11だが、直近5年で大幅な増減はない。協力会員を増やす方法について検討する。
55					利用件数	件	3,000	3,000	3,000	1,552	51.7%	1,213	40.4%	1,544	51.5%	△	▲	△	→	令和4年度から令和5年度は増加しているが、直近5年では減少が続いているため、協力会員を増やし利用を促進する必要がある。
56					延配食数	食	11,600	11,600	11,600	12,484	107.6%	12,428	107.1%	13,009	112.1%	◎	◎	◎	→	令和5年度の配食数は増加したが、利用登録者数は横ばいであるため、今後の動向を注視する。
57					利用登録者数	人	170	176	181	171	100.6%	184	104.5%	183	101.1%	◎	◎	◎	→	登録者数は横ばいであるため、今後の動向を注視する。
58					栄養管理サービス訪問回数	回	803	833	855	755	94.0%	704	84.5%	744	87.0%	○	△	△	→	直近5年で増減を繰り返してため、今後の動向を注視する。
59					栄養管理サービス利用者数	人	107	111	114	112	104.7%	110	99.1%	112	98.2%	◎	○	○	→	利用者数は横ばいであるため、今後の動向を注視する。
60					実利用人数	人	160	160	160	139	86.9%	131	81.9%	141	88.1%	△	△	△	→	令和5年度は増加したが、直近5年で減少が続いている。事業者が減っていることも影響していることから、代替サービスを検討する必要がある。
61					延派遣回数	回	1,400	1,400	1,400	1,328	94.9%	1,243	88.8%	1,184	84.6%	○	△	△	→	利用人数の減少に併せて派遣回数も減っている。事業者が減っていることも影響していることから、代替サービスを検討する必要がある。
62					自動消火装置給付数	件	22	22	22	18	81.8%	21	95.5%	24	109.1%	△	○	◎	→	福祉ガイド等で周知を行ったが、新規の申請は横ばいである。今後の動向を注視するとともに、事業の必要性についても検討する必要がある。
63					電磁調理器給付数	件	70	70	70	56	80.0%	95	135.7%	86	122.9%	△	◎	◎	→	福祉ガイド等で周知を行った結果、給付台数は増加傾向にある。
64				シルバーカー給付数	件	160	160	160	135	84.4%	177	110.6%	212	132.5%	△	◎	◎	→	福祉ガイド等で周知を行った結果、給付台数は増加傾向にある。	
65				助成件数	件	100	100	100	92	92.0%	121	121.0%	156	156.0%	○	◎	◎	→	給付台数は増加傾向にあり、令和5年度は過去最高値となった。事業の見直しを行い、令和6年度より助成限度額を改定した。	
66				実支給人数	人	2,816	2,925	3,041	2,828	100.4%	2,985	102.1%	3,100	101.9%	◎	◎	◎	→	支給人数は増加傾向にある。高齢者および要介護認定者数の増加に併せて需要が伸びるため、引き続き事業の周知を図り、今後の動向を注視する。	

助け合い活動などの支援体制づくりの推進

						達成率について														
						◎ …計画目標値を達成又は上回っており、着実に計画が進んでいる(達成率100%以上)									第9期以降の方向性については「△ 拡大」「→ 現状維持」「▽ 縮小」「× 廃止」					
						○ …ほぼ計画目標値を達成し、このまま計画を進めていく(達成率90%~100%)														
						△ …達成率が計画目標値に達していないものがあり、さらなる計画の推進が必要(達成率50%~90%)														
						▲ …達成率が計画目標値に達していないものがあり、今後事業見直しも含めた計画の推進が必要(達成率50%以下)														
No	施策群	所管課	施策名 ★は重点項目	指標		【第8期】計画目標			【第8期】実績						【第8期】達成率			【第8期】評価		
						令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和3年度	達成率 (実績/目標値)	令和4年度	達成率 (実績/目標値)	令和5年度	達成率 (実績/目標値)	令和3年度	令和4年度	令和5年度	第9期以降の方向性	第8期における取組み・検討課題などの評価を記入 ※目標値を変更した場合は、その理由と算出根拠を記入	
67	生活支援サービスの提供	高齢者福祉課	訪問理美容サービス	実利用者数	人	30	30	30	27	90.0%	34	113.3%	49	163.3%	○	◎	◎	→	近年増加傾向であるため、今後の動向を注視する。	
68				延訪問回数	回	60	60	60	50	83.3%	89	148.3%	117	195.0%	△	◎	◎	→	近年増加傾向であるため、今後の動向を注視する。	
69		高齢者福祉課	緊急一時支援事業	延派遣回数	回	20	20	20	11	55.0%	17	85.0%	23	115.0%	△	△	◎	→	平成29年度より減少が続いていたが、第8期は増加傾向であり、令和5年度は目標値も達成した。引き続き福祉ガイドや広報での周知を行い、今後の動向を注視する。	
70		高齢者福祉課	家族介護慰労金の支給	延支給人数	件	5	5	5	3	60.0%	4	80.0%	7	140.0%	△	△	◎	→	第8期は増加した。利用者には介護保険を利用しない理由を聞くなど状況把握し、介護保険利用を促すよう努めている。	
71		地域福祉課	★人材確保・ボランティアの掘り起こし	たすけあいの会	団体	58	60	62	57	98.3%	57	95.0%	50	80.6%	○	○	△	↗	新型コロナウイルス感染症の影響により、活動を停止し、そのまま再開せず、解散した団体があり、令和3年度末の57団体から7団体減少した。まちづくり出前講座の実施や生活支援コーディネーターとの連携により、増加に努めたものの、新規団体は無かった。たすけあいの会の担い手も高齢化しているため、新たな担い手の確保が今後の課題である。	
72				ボランティア数	人	2,600	2,800	3,000	1,989	76.5%	1,926	68.8%	1,818	60.6%	△	△	△	↗	新型コロナウイルス感染症により活動を停止したまま、ボランティアを止めてしまった人や、高齢化による引退等により、令和4年度の1,926人から108人減少し、新たなボランティアの確保が課題となっている。	
73		資源循環課	ふれあい収集事業	対象世帯数	世帯	300	350	400	306	102.0%	370	105.7%	473	118.3%	◎	◎	◎	↗	ふれあい収集利用者は年々増加しており、本事業への需要が高いことが読み取れる。今後も関係団体への周知を行い、安定した事業の継続を図る。	
74	移動支援	道路計画課	★高齢者支援協力バスの活用	利用登録者数	人	7,500	7,600	7,700	7,630	101.7%	7,796	102.6%	7,950	103.2%	◎	◎	◎	→	地元要望、利用状況をもとに運行ルートの見直しを実施する等、利用者数の増加に努めた結果、目標値を上回る利用登録者数に達した。	
75				延利用者数	人	23,500	24,000	24,000	22,172	94.3%	25,862	107.8%	30,522	127.2%	○	◎	◎	→	地元要望、利用状況をもとに運行ルートの見直しを実施する等、利用者数の増加に努めた結果、目標値を上回る延利用者数に達した。	
76		道路計画課	★駅改札内外のバリアフリー化	整備実施駅数	駅	4	0	0	3	75.0%	1	-	0	-	△	◎	◎	×	改札内外において、1つ以上バリアフリー化した経路を市内の全ての駅で確保した。更なるバリアフリー化については、各鉄道事業者の設備投資計画次第であり、市で計画目標を設定することができないため、第9期以降の方向性は「廃止」とする。	
77		道路計画課	★バス待ち環境の改善(バス上屋・ベンチ設置)	停留所施設整備数 国・県道	か所	1	1	1	1	100.0%	0	0.0%	0	0.0%	◎	▲	▲	×	歩道が狭隘、店舗の出入口等の地理的な制約がある箇所、周辺地権者との合意形成が難しい箇所、利用状況から事業者が整備に難色を示す箇所を除き、国・県道における整備は完了した。今後の国・県道における停留所施設整備については、各バス事業者の設備投資計画次第であり、市で計画目標を設定することができないため、第9期以降の方向性は「廃止」とする。	
78					停留所施設整備数 市道	か所	1	1	1	2	200.0%	4	400.0%	1	100.0%	◎	◎	◎	→	バス待ち環境の速やかな改善のため、停留所施設(バス上屋・ベンチ)の整備を推進した。
79	高齢者福祉課	高齢者福祉タクシー	延交付者数	人	9,501	9,950	10,360	9,614	101.2%	9,858	99.1%	10,987	106.1%	◎	○	◎	→	高齢者及び要介護認定者数の増加に併せて需要が伸びるため、今後の動向を注視する。		
80			延利用枚数	枚	60,806	63,678	66,303	62,782	103.2%	66,134	103.9%	68,294	103.0%	◎	◎	◎	→	高齢者及び要介護認定者数の増加に併せて需要が伸びるため、今後の動向を注視する。		
81	地域での支え合い体制の確立	地域包括ケア推進課	★地域ケア会議の推進・地域課題への取り組み	個別ケア会議開催回数	回	118	131	144	87	73.7%	94	71.8%	81	56.3%	△	△	△	→	公的サービス等だけでは支援困難な高齢者個人に対する支援方法等の検討を行った。引き続き高齢者が必要とする支援を行えるよう、個別ケア会議を実施していく。	
82				全体会議開催回数	回	100	100	100	99	99.0%	100	100.0%	98	98.0%	○	◎	○	→	全24コミュニティで各4回以上全体会議を開催することができた。引き続き全体会議を通じて、地域づくりの推進について検討を行っていく。	
83				講演会開催回数	回	15	16	17	4	26.7%	16	100.0%	16	94.1%	▲	◎	○	→	令和3年度は新型コロナウイルス感染症の影響により十分に開催できなかったものの、その後はおおむね目標通り開催できている。引き続き本事業を通じて地域づくりの一環として、また地域ケア会議の普及啓発を図っていく。	

助け合い活動などの支援体制づくりの推進

<p>達成率について ◎ …計画目標値を達成又は上回っており、着実に計画が進んでいる(達成率100%以上) ○ …ほぼ計画目標値を達成し、このまま計画を進めていく(達成率90%~100%) △ …達成率が計画目標値に達していないものがあり、さらなる計画の推進が必要(達成率50%~90%) ▲ …達成率が計画目標値に達していないものがあり、今後事業見直しも含めた計画の推進が必要(達成率50%以下)</p>																						
No	施策群	所管課	施策名 ★は重点項目	指標		【第8期】計画目標			【第8期】実績						【第8期】達成率			【第8期】評価				
						令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和3年度	達成率 (実績/目標値)	令和4年度	達成率 (実績/目標値)	令和5年度	達成率 (実績/目標値)	令和3年度	令和4年度	令和5年度	第9期以降 の方向性	第8期における取組み・検討課題などの評価を記入 ※目標値を変更した場合は、その理由と算出根拠を記入			
84	地域での支 え合い体制 の確立	地域福祉課	ミニデイサービス事業補助金 交付事業	実施回数	回	749	749	749	287	38.3%	412	55.0%	577	77.0%	▲	△	△	↗	令和3年度・4年度は新型コロナウイルスの影響により、活動が自粛されたため目標を大きく下回った。 令和5年度は新型コロナウイルス感染症が5月に5類感染症に移行し、徐々にコロナ禍以前に近い事業が実施できるようになり、令和4年度の412回を165回上回ったが、目標は下回った。事業に協力するボランティアが減少傾向にあり、確保が課題となっている。			
85		地域福祉課	ふれあいいきいきサロン事業 補助金事業	実施回数	回	676	676	676	151	22.3%	322	47.6%	622	92.0%	▲	▲	○	↗	令和3年度・4年度は新型コロナウイルスの影響により、活動が自粛されたため目標を大きく下回った。 令和5年度は新型コロナウイルス感染症が5月に5類感染症に移行し、徐々にコロナ禍以前に近い事業が実施できるようになり、令和4年度の322回を300回上回ったが、目標はわずかに下回った。			
86		地域福祉課	保健と福祉の総合相談窓口 事業	延相談件数	件	22,500	22,500	22,500	22,214	98.7%	22,096	98.2%	31,068	138.1%	○	○	◎	→	令和3年度・4年度は新型コロナウイルスや物価高騰等の影響で相談件数が高い水準で推移し、目標値をほぼ達成することができた。 令和5年度は重層的支援体制整備事業を開始したことに伴い、さくらの相談員を増員したことで、一人ひとりの相談により丁寧に対応できるようになり、相談件数が大幅に増加した。			
87		高齢者福祉課	ひとり暮らし高齢者等見守り 活動支援事業	見守り対象高齢者数	人	3,000	3,000	3,000	1,719	57.3%	1,765	58.8%	1,380	46.0%	△	△	▲	↘	後継者不足等により活動団体数が減少している。事業の見直しを行い、令和6年度よりひとり暮らし高齢者地域交流会補助事業を廃止した。今後は、市として地域における「ゆるやかな見守り」体制の周知を図っていく。			
88	消費生活セン ター	消費生活セン ター	★高齢者を狙った犯罪・消費 者被害への対策	出前講座	回	32	32	32	7	21.9%	12	37.5%	13	40.6%	▲	▲	▲	→	リアルタイムの情報を提供し、内容を充実させる。			
89				消費者月間記念講演会	回	1	1	1	1	100.0%	1	100.0%	1	100.0%	◎	◎	◎	→	船橋市民文化創造館 きららにて講演会を実施。			
90				民生委員等研修会	回	2	2	2	1	50.0%	2	100.0%	4	200.0%	△	◎	◎	→	3会場及び動画配信にて実施。			
91				消費生活モニター事業	回	9	9	9	10	111.1%	9	100.0%	9	100.0%	◎	◎	◎	→	開催時期の変更等はあるが、通常通り実施。			
92				生き生き展の開催	回	1	1	1	1	100.0%	1	100.0%	1	100.0%	◎	◎	◎	↗	HPを活用したデジタル方式及びパネル展を実施。			
93				くらしの情報の発行	回	3	3	3	3	100.0%	3	100.0%	3	100.0%	◎	◎	◎	→	リアルタイムの情報を提供し、内容を充実させる。			
94				老人福祉センター定期出 張相談・啓発	回	56	56	56	50	89.3%	54	96.4%	52	92.9%	△	○	○	→	リアルタイムの情報を提供し、内容を充実させる。			
95				消費者安全確保地域協 議会	回	1	1	1	1	100.0%	1	100.0%	1	100.0%	◎	◎	◎	→	内容を精査し、充実した協議会となるよう取り組む。			
96				その他	地域包括ケア推 進課	成年後見制度利用 支援事業	後見人報酬助成件数	件	93	97	101	94	101.1%	96	99.0%	119	117.8%	◎	○	◎	→	引き続き必要な者に助成することで、成年後見制度利用を促進していく。
97				地域包括ケア推 進課	地域包括ケア推 進課	成年後見制度普及 事業	開催回数	回	2	2	2	1	50.0%	2	100.0%	2	100.0%	△	◎	◎	→	引き続き制度周知、理解のために実施していく。
98	参加者数	人	300				300	300	40	13.3%	142	47.3%	170	56.7%	▲	▲	△	→	引き続き制度周知、理解のために実施していく。			
99	地域包括ケア推 進課	地域包括ケア推 進課	★高齢者虐待防止の体制	運営委員会開催回数	回	2	1	1	1	50.0%	1	100.0%	1	100.0%	△	◎	◎	→	運営委員会の所期の目的である高齢者虐待防止に係る関係機関等の連携強化については達成しており、実績報告及び事例報告については1回の開催で足りることから、令和4年度から年間1回の開催とした。			
100				担当者会議開催回数	回	12	6	6	4	33.3%	5	83.3%	6	100.0%	▲	△	◎	→	新型コロナウイルス感染症蔓延防止のため、計画当初は開催ができないこともあったが、令和4年度より計画した年間6回の開催について、おおむね実施することができた。引き続き実施していく。			
101				事例検討数	件	20	10	10	4	20.0%	19	190.0%	20	200.0%	▲	◎	◎	→	医師や弁護士といった専門職から意見を聴取する臨時会の開催も行い、目標値を超える件数の事例についての検討が行えた。引き続き継続していく。			
102				研修会開催回数	回	2	2	2	0	0.0%	1	50.0%	2	100.0%	▲	△	◎	→	新型コロナウイルス感染症の蔓延防止の影響から当初は計画通りに研修を開催できなかったが、令和5年度は計画通りの開催が可能であった。対応する職員の知識・技術の平準化を図るためにも引き続き実施していく。			
103	地域包括ケア推 進課	地域包括ケア推 進課	高齢者虐待防止の周知と啓 発	虐待に係る相談件数	件	3,180	3,430	3,460	3,498	110.0%	3,797	110.7%	5,231	151.2%	◎	◎	◎	→	高齢者虐待における相談件数が増加した。引き続き相談の対応をしていく。			

いつでも安心して必要な介護サービスを利用できる体制の確立

						達成率について									【第8期】評価					
						◎ …計画目標値を達成又は上回っており、着実に計画が進んでいる(達成率100%以上)									第9期以降の方向性については「△ 拡大」「→ 現状維持」「▽ 縮小」「× 廃止」					
						○ …ほぼ計画目標値を達成し、このまま計画を進めていく(達成率90%~100%)									第8期における取組み・検討課題などの評価を記入 ※目標値を変更した場合は、その理由と算出根拠を記入					
						△ …達成率が計画目標値に達していないものがあり、さらなる計画の推進が必要(達成率50%~90%)														
						▲ …達成率が計画目標値に達していないものがあり、今後事業見直しも含めた計画の推進が必要(達成率50%以下)														
No	施策群	所管課	施策名 ★は重点項目	指標		【第8期】計画目標			【第8期】実績						【第8期】達成率					
						令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和3年度	達成率 (実績/目標値)	令和4年度	達成率 (実績/目標値)	令和5年度	達成率 (実績/目標値)	令和3年度	令和4年度	令和5年度	第9期以降の方向性		
104	介護サービスの質の確保	介護保険課	★介護人材の確保	新規就業者数	人	100	100	100	101	101.0%	123	123.0%	107	107.0%	◎	◎	◎	↗	引き続き市内の実態を把握しながら、介護人材について量的確保のための施策を展開していく。 ・介護職員初任者研修等費用助成 71人 ・合同就職説明会での就業者 5人 ・EPA介護福祉士候補者受け入れ 2人 ・介護に関する入門的研修終了後就業者 4人 ・介護職員宿舎借り上げ支援事業の令和5年度 新規25人	
105		介護保険課 地域包括ケア推進課	★介護保険訪問看護職員雇用促進事業の実施	補助対象常勤換算数	人	1,050	1,050	1,050	1,236.6	117.8%	1,501.2	143.0%	1601.8	152.6%	◎	◎	◎	↗	訪問看護職員の賃金改善にかかる費用を助成した。高齢者人口の増加に伴い、訪問看護職員の需要が高まることが予想されるため、拡大して補助を実施する。	
106		高齢者福祉課	介護相談員派遣事業	介護相談員延派遣件数	件	552	552	276	0	0.0%	0	0.0%	119	43.1%	▲	▲	▲	→	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、令和元年度末より派遣活動を中止していたが、令和5年10月より希望施設について派遣を再開し、令和6年度は通年で実施している。介護相談員数については、令和6年度は2名採用したが、今後相談員数をさらに増やし、派遣件数を増やすよう取り組んでいく。	
107				派遣施設数	か所	46	46	46	0	0.0%	0	0.0%	23	50.0%	▲	▲	△	→	既存派遣施設に介護相談員の受け入れ意思を確認し、徐々に活動施設数を戻していく。	
108		高齢者福祉課	生活・介護支援サポーター事業	登録施設数	か所	10	10	10	10	100.0%	10	100.0%	10	100.0%	◎	◎	◎	→	近年、登録施設数の変動はない。サポーターを増やす方法や施設への利用促進、周知について検討していく。	
109				介護支援専門員研修会参加者数	人	200	200	200	159	79.5%	183	91.5%	330	165.0%	△	○	◎	→	令和4年に地域包括支援センター及び船橋市介護支援専門協議会のメンバーで研修骨子委員会を発足し、研修についての3か年計画(令和5年度から7年度まで)を策定した。新型コロナウイルス感染症のまん延防止の観点から、研修についても参集のみではなく、オンラインで参加できるよう運営側の整備も充実してきている。引き続き、研修に参加している介護支援専門員からの希望やニーズを確認しながら研修の開催を行う。	
110		地域包括ケア推進課	介護支援専門員研修事業	介護支援専門員研修会開催数	回	1	1	1	1	100.0%	1	100.0%	2	200.0%	◎	◎	◎	→	令和4年に地域包括支援センター及び船橋市介護支援専門協議会のメンバーで研修骨子委員会を発足し、研修についての3か年計画(令和5年度から7年度まで)を策定した。新型コロナウイルス感染症のまん延防止の観点から、研修についても参集のみではなく、オンラインで参加できるよう運営側の整備も充実してきている。引き続き、研修に参加している介護支援専門員からの希望やニーズを確認しながら研修の開催を行う。	
111				主任介護支援専門員研修会参加者数	人	100	100	100	102	102.0%	83	83.0%	0	0.0%	◎	△	▲	×	研修についての3か年計画(令和5年度から7年度まで)では主任介護支援専門員研修と介護支援専門員研修を、一体的に運用することとしたことから指標を統合する。(指標「介護支援専門員研修会参加者数」と「主任介護支援専門員研修会参加者数」を統合)	
112				主任介護支援専門員研修会開催数	回	1	1	1	1	100.0%	1	100.0%	0	0.0%	◎	◎	▲	×	研修についての3か年計画(令和5年度から7年度まで)では主任介護支援専門員研修と介護支援専門員研修を、一体的に運用することとしたことから指標を統合する。(指標「介護支援専門員研修会開催数」と「主任介護支援専門員研修会開催数」を統合)	
113				地域包括支援センター設置数	か所	13	14	14	13	100.0%	14	100.0%	14	100.0%	◎	◎	◎	→	令和4年度には地域包括支援センターを増設し、目標値を達成することができた。引き続き相談窓口としての周知を図り、認知度や浸透度を高めていく。	
114	地域包括支援センターの機能強化	地域包括ケア推進課	★在宅介護支援センターから地域包括支援センターへの移行	地域包括支援センター相談件数	件	52,700	57,100	57,500	61,137	116.0%	72,646	127.2%	79,246	137.8%	◎	◎	◎	→	高齢者人口の増加に伴い、相談件数が増加傾向にあるため、計画値より多くの相談を受けた。引き続き相談窓口としての周知を図り、認知度や浸透度をさらに高めていく。	
115				在宅介護支援センター相談件数	件	14,600	13,800	13,900	16,427	112.5%	17,106	124.0%	17,353	124.8%	◎	◎	◎	→	高齢者人口の増加に伴い、相談件数が増加傾向にあるため、計画値より多くの相談を受けた。引き続き相談窓口としての周知を図り、認知度や浸透度をさらに高めていく。	

いつでも安心して必要な介護サービスを利用できる体制の確立

達成率について
 ◎ …計画目標値を達成又は上回っており、着実に計画が進んでいる(達成率100%以上)
 ○ …ほぼ計画目標値を達成し、このまま計画を進めていく(達成率90%~100%)
 △ …達成率が計画目標値に達していないものがあり、さらなる計画の推進が必要(達成率50%~90%)
 ▲ …達成率が計画目標値に達していないものがあり、今後事業見直しも含めた計画の推進が必要(達成率50%以下)

No	施策群	所管課	施策名 ★は重点項目	指標		【第8期】計画目標			【第8期】実績						【第8期】達成率			【第8期】評価	
						令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和3年度	達成率 (実績/目標値)	令和4年度	達成率 (実績/目標値)	令和5年度	達成率 (実績/目標値)	令和3年度	令和4年度	令和5年度	第9期以降 の方向性	第8期における取組み・検討課題などの評価を記入 ※目標値を変更した場合は、その理由と算出根拠を記入
116	地域包括支援センターの機能強化	地域包括ケア推進課	★地域ケア会議の推進・地域課題への取り組み【再掲】	個別ケア会議開催回数	回	118	131	144	87	73.7%	94	71.8%	81	56.3%	△	△	△	→	公的サービス等だけでは支援困難な高齢者個人に対する支援方法等の検討を行った。引き続き高齢者が必要とする支援を行えるよう、個別ケア会議を実施していく。
117				全体会議開催回数	回	100	100	100	99	99.0%	100	100.0%	98	98.0%	○	◎	○	→	全24コミュニティで各4回以上全体会議を開催することができた。引き続き全体会議を通じて、地域づくりの推進について検討を行っていく。
118				講演会開催回数	回	15	16	17	4	26.7%	16	100.0%	16	94.1%	▲	◎	○	→	令和3年度は新型コロナウイルス感染症の影響により十分に開催できなかったものの、その後はおおむね目標通り開催できている。引き続き本事業を通じて地域づくりの一環として、また地域ケア会議の普及啓発を図っていく。
119		地域包括ケア推進課	在宅介護支援センターが行う訪問等による実態把握	実態把握件数	件	1,070	1,010	1,020	989	92.4%	1,101	109.0%	1,055	103.4%	○	◎	◎	→	支援が必要な高齢者を適切なサービスにつなぐため、在宅介護支援センターが地域の対象者等の心身の状況及びその家族等の状況について訪問等の方法により実態把握していく。
120		地域包括ケア推進課	相談協力員研修会	参加者数	人	300	300	300	0	0.0%	246	82.0%	269	89.7%	▲	△	△	→	地域包括支援センター及び在宅介護支援センターの相談協力員としての役割を果たしている民生委員等を対象に在宅介護に関する知識の普及のための研修会を開催した。
121	研修会開催数	回		1	1	1	0	0.0%	1	100.0%	1	100.0%	▲	◎	◎	→	地域包括支援センター及び在宅介護支援センターの相談協力員としての役割を果たしている民生委員等を対象に在宅介護に関する知識の普及のための研修会を開催した。		
122	認知症対策の推進	地域包括ケア推進課	★認知症初期集中支援チーム・認知症地域支援推進員の設置	認知症初期集中支援チーム	チーム	5	5	5	5	100.0%	5	100.0%	5	100.0%	◎	◎	◎	→	引き続き、認知症が疑われる人やその家族への支援を、包括的・集中的に行い自立生活のサポートをしていく。
123				認知症地域支援推進員(保健師・社会福祉士・主任ケアマネジャー)	名	直営センター15名 委託センター8名	直営センター15名 委託センター9名	直営センター15名 委託センター9名	直営センター12名 委託センター22名	152.1%	直営センター15名 委託センター27名	175.0%	直営センター15名 委託センター28名	179.2%	◎	◎	◎	→	認知症地域支援推進員の資格取得を幅広く周知した結果、目標値を上回った。引き続き、各地域包括支援センターに認知症地域支援推進員を兼務で配置し、推進員を中心に各地域で認知症施策を進めていく。
124		認知症カフェPR事業登録件数(累計)	件	48	61	74	31	64.6%	29	47.5%	30	40.5%	△	▲	▲	→	認知症カフェを開設している方や、認知症カフェの開設を考えている方への情報提供と情報交換、継続支援のために交流会の実施や、認知症カフェの運営に関するアドバイス等を紹介する「認知症カフェの手引き」の配布を通じて、新たな認知症カフェの開設支援に力を入れた。引き続き認知症カフェPR事業登録件数の増加するよう周知をしていく。		
125		地域包括ケア推進課	★本人や家族の交流の場や、本人の社会参加や生きがいにつながる場の創出	認知症カフェ運営補助金交付件数(新規分)	件	5	13	13	0	0.0%	0	0.0%	2	15.4%	▲	▲	▲	→	新型コロナウイルス感染症が5類へと移行し、休止していた市内の認知症カフェが再開するとともに、新規立ち上げの認知症カフェから運営補助金の申請もあり、今後も引き続き周知をしていく。
126		認知症カフェ運営補助金交付件数(継続分)	件	0	61	74	0	-	0	0.0%	0	0.0%	-	▲	▲	×	→	継続支援として補助金という形ではなく、別の形で継続支援を検討していくため、当事業を次期計画より廃止とする。	
127	認知症カフェ交流会開催回数	回	1	1	1	1	100.0%	1	100.0%	1	100.0%	◎	◎	◎	→	認知症カフェを開設している方や認知症カフェの開設を考えている方への情報提供、情報交換、継続支援のために交流会を開催し、今後も引き続き開催を目指していく。			
128	地域包括ケア推進課	★認知症の人や家族を地域で見守り、支え合う体制の構築	徘徊模擬訓練実施地区数	地区	3	5	5	0	0.0%	3	60.0%	2	40.0%	▲	△	▲	→	令和4年度に市内全24コミュニティでの訓練が完了した。今後は、地域の実情に合わせリポート開催を自治会・町会等へ促し、実施に向けた後方支援を行っていく。	
129			メモリーウォーク開催回数	回	0	1	1	0	-	0	0.0%	0	0.0%	-	▲	▲	→	新型コロナウイルス感染症や天候の影響により中止となったが、引き続き、市民や社会に対して、認知症に対する理解を深めるために啓発活動を続けていく。	
130			チームオレンジ体制整備(累計)	地区	3	6	9	0	0.0%	1	16.7%	4	44.4%	▲	▲	▲	→	目標は未達であるが各地域包括支援センターに配置しているチームオレンジコーディネーターを中心として体制整備に向けて動いている。引き続き認知症の人やその家族の支援ニーズと認知症サポーターを中心とした支援者をつなぐために、チームオレンジの体制整備を進めていく。	

いつでも安心して必要な介護サービスを利用できる体制の確立

達成率について
 ◎ …計画目標値を達成又は上回っており、着実に計画が進んでいる(達成率100%以上)
 ○ …ほぼ計画目標値を達成し、このまま計画を進めていく(達成率90%~100%)
 △ …達成率が計画目標値に達していないものがあり、さらなる計画の推進が必要(達成率50%~90%)
 ▲ …達成率が計画目標値に達していないものがあり、今後事業見直しも含めた計画の推進が必要(達成率50%以下)

No	施策群	所管課	施策名 ★は重点項目	指標		【第8期】計画目標			【第8期】実績						【第8期】達成率			【第8期】評価	
						令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和3年度	達成率 (実績/目標値)	令和4年度	達成率 (実績/目標値)	令和5年度	達成率 (実績/目標値)	令和3年度	令和4年度	令和5年度	第9期以降の方向性	第8期における取組み・検討課題などの評価を記入 ※目標値を変更した場合は、その理由と算出根拠を記入
131	認知症対策の推進	地域包括ケア推進課	認知症についての地域住民及び支援関係者への広報・啓発活動	認知症サポーター受講者数	人	9,000	9,000	9,000	8,001	88.9%	9,508	105.6%	8,680	96.4%	△	◎	○	→	引き続き、市民向け講座や団体への出前講座を実施し、認知症の人やその家族を温かく見守る応援者として、認知症サポーターを養成していく。また、市職員、市内市立の全小学校向けに講座を実施し、中学校についても希望があった学校で講座を実施していく。
132		地域包括ケア推進課	認知症高齢者へのサービス提供	地域包括支援センター成年後見相談件数	件	2,810	3,040	3,060	2,594	92.3%	2,849	93.7%	3,854	125.9%	○	○	◎	→	引き続き成年後見制度をはじめとする権利擁護に関連する事業を必要な方へ提供していく。
133				市長申し立て件数	件	40	40	40	32	80.0%	25	62.5%	27	67.5%	△	△	△	→	引き続き認知症高齢者の権利擁護の一環として対応していく。
134		地域包括ケア推進課	認知症家族交流会	認知症家族交流会開催数	回	6	6	6	5	83.3%	6	100.0%	6	100.0%	△	◎	◎	→	新型コロナウイルス感染症の影響で実施できなかったこともあったが、5類に移行してからは予定通り開催することができた。参加者からはまた参加したいとの声があり、継続して開催していく。
135				延参加者数	人	115	115	115	34	29.6%	70	60.9%	56	48.7%	▲	△	▲	→	目標は未達であるものの、アンケート結果より満足度の高い交流会となった。今後はより効果的な周知活動を検討していく。
136		介護保険課	認知症訪問支援サービス(市町村特別給付)の実施	延利用件数	件	387	404	420	210	54.3%	249	61.6%	286	68.1%	△	△	△	↗	対象者が限定されるサービスであり、また新型コロナウイルス感染症の影響により利用が伸びなかったが、今後もホームページや集団指導等を通じて、市民および事業所への周知に努め、利用の促進を図っていく。
137		健康づくり課	認知症予防教室	参加人数	人	600	650	700	361	60.2%	397	61.1%	550	78.6%	△	△	△	→	開催会場、事業案内も増やした事により参加者数はコロナ前より増加した。第9期以降は、目標値までには達しなかった前期の内容も踏まえ、広報などで、事業周知を図り参加人数の増加に努める。
138		地域包括ケア推進課	SOSネットワーク	依頼件数	件	30	30	30	20	66.7%	11	36.7%	11	36.7%	△	▲	▲	→	引き続き行方高齢者の早期発見のため事業を実施。協力団体は増加したが、申込依頼が減少している。
139		地域包括ケア推進課	徘徊高齢者家族支援サービス事業	利用人数	人	95	100	105	99	104.2%	102	102.0%	90	85.7%	◎	◎	△	→	徘徊する高齢者を介護している家族の安心に繋がった。引き続き、事業を周知し、必要な者へサービスを提供していく。
140	地域包括ケア推進課	★高齢者まちかど案内所事業	協力事業所数	事業所	220	230	240	189	85.9%	196	85.2%	192	80.0%	△	△	△	→	今後も事業の周知を行い、協力事業所の増加を図る。	
141	介護サービスの円滑な利用	介護保険課	介護保険事業の普及啓発	介護保険・高齢者福祉ガイド発行部数	部	35,000	35,000	35,000	35,000	100.0%	35,000	100.0%	35,000	100.0%	◎	◎	◎	→	介護保険制度に対する認知度を高めるため、引き続き実施していく。
142				介護保険のてびき(小冊子)発行部数	部	8,500	8,500	8,000	8,500	100.0%	8,500	100.0%	8,000	100.0%	◎	◎	◎	↗	介護保険制度に対する認知度を高めるため、引き続き実施していく。
143				出前講座開催回数	回	8	8	8	2	25.0%	2	25.0%	7	87.5%	▲	▲	△	↗	新型コロナウイルス感染症の影響により実施回数が伸びなかったが、5類感染症の位置づけに移行したことに伴い、コロナ禍以前と同等の水準に回復した。
144				出前講座参加人数	人	200	200	200	57	28.5%	46	23.0%	188	94.0%	▲	▲	○	↗	新型コロナウイルス感染症の影響による実施回の減少に伴う参加人数が伸びなかったが、5類感染症の位置づけに移行したことに伴い、コロナ禍以前と同等の水準に回復した。
145		介護保険課	介護保険利用者負担助成事業	認定者数	人	145	151	157	153	105.5%	160	106.0%	167	106.4%	◎	◎	◎	↗	低所得者の介護サービスの利用を確保するため、今後も広報や集団指導等を通じて、市民および事業所への周知に努め、利用の促進を図っていく。
146		介護保険課	介護老人福祉施設利用者負担対策事業	認定者数	人	83	86	90	83	100.0%	79	91.9%	87	96.7%	◎	○	○	↗	低所得者の介護サービスの利用を確保するため、今後も広報や集団指導等を通じて、市民および事業所への周知に努め、利用の促進を図っていく。

いつでも安心して必要な介護サービスを利用できる体制の確立																			
達成率について ◎ …計画目標値を達成又は上回っており、着実に計画が進んでいる(達成率100%以上) ○ …ほぼ計画目標値を達成し、このまま計画を進めていく(達成率90%~100%) △ …達成率が計画目標値に達していないものがあり、さらなる計画の推進が必要(達成率50%~90%) ▲ …達成率が計画目標値に達していないものがあり、今後事業見直しも含めた計画の推進が必要(達成率50%以下)																			
No	施策群	所管課	施策名 ★は重点項目	指標		【第8期】計画目標			【第8期】実績						【第8期】達成率			【第8期】評価	
						令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和3年度	達成率 (実績/目標値)	令和4年度	達成率 (実績/目標値)	令和5年度	達成率 (実績/目標値)	令和3年度	令和4年度	令和5年度	第9期以降 の方向性	第8期における取組み・検討課題などの評価を記入 ※目標値を変更した場合は、その理由と算出根拠を記入
147	介護サービスの円滑な利用	介護保険課	介護給付等費用適正化事業	認定調査結果確認件数	件	7,700	7,700	7,700	1,935	25.1%	3,187	41.4%	3,216	41.8%	▲	▲	▲	→	新型コロナウイルス感染症の影響から調査委託件数が減少したため、目標件数に達しなかった。今後も調査委託件数に応じて認定調査結果を確認し、適切かつ公平な要介護認定の確保を図る。
148				ケアプラン点検事業所数	か所	40	40	40	40	100.0%	40	100.0%	41	102.5%	◎	◎	◎	→	新型コロナウイルス感染症の影響により実施方法の変更等を行ったが、適切なケアマネジメントにより介護給付費の適正化を図るため、今後も適切な方法により計画的に実施していく。
149				住宅改修等の現地調査件数	件	60	60	60	74	123.3%	65	108.3%	76	126.7%	◎	◎	◎	→	新型コロナウイルス感染症の影響により実施方法の変更等を行ったが、介護給付費の適正化を図るため、今後も適切な方法により計画的に実施していく。
150				縦覧点検・医療情報との突合等件数	件	20,000	20,000	20,000	19,154	95.8%	18,565	92.8%	19,187	95.9%	○	○	○	→	国保連合会から提供される情報をもとに、事業所へ介護報酬に関する照会を行った。介護給付費の適正化を図るため、今後も国保連合会と連携し、適切な方法で計画的に実施していく。
151				介護給付費通知送付数	件	91,000	95,000	98,000	89,086	97.9%	91,588	96.4%	94,861	96.8%	○	○	○	×	利用した介護サービスの内容や費用について、年4回、利用者へ通知した。国の介護給付適正化事業が見直され、任意となったため、本市でも実施について検討した結果、費用対効果を鑑み、令和6年度以降は実施しないこととした。
152		介護保険課	要介護認定適正化事業	要介護認定適正化研修	回	1	-	1	1	100.0%	-	-	1	100.0%	◎	-	◎	→	令和3年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため書面による実施としたが、令和5年度は対面で研修会を実施した。今後も隔年開催とし、状況に応じた適切な方法により実施していく。

医療と介護の連携による継続的・一体的なサービス提供体制の確立

					達成率について									【第8期】評価					
					◎ …計画目標値を達成又は上回っており、着実に計画が進んでいる(達成率100%以上)									第9期以降の方向性については 「△ 拡大」「→ 現状維持」「▽ 縮小」「× 廃止」					
					○ …ほぼ計画目標値を達成し、このまま計画を進めていく(達成率90%~100%)														
					△ …達成率が計画目標値に達していないものがあり、さらなる計画の推進が必要(達成率50%~90%)														
					▲ …達成率が計画目標値に達していないものがあり、今後事業見直しも含めた計画の推進が必要(達成率50%以下)														
No	施策群	所管課	施策名 ★は重点項目	指標	【第8期】計画目標			【第8期】実績						【第8期】達成率			【第8期】評価		
					令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和3年度	達成率 (実績/目標値)	令和4年度	達成率 (実績/目標値)	令和5年度	達成率 (実績/目標値)	令和3年度	令和4年度	令和5年度	第9期以降 の方向性	第8期における 取組み・検討課題 などの評価を記入 ※目標値を変更した 場合は、その理由と 算出根拠を記入	
153	在宅医療の 推進	地域包括ケア推 進課	★在宅医療・介護連携に関する相談支援(在宅医療支援拠点ふなぼーと)	相談件数	件	750	770	790	882	117.6%	1027	133.4%	1,183	149.7%	◎	◎	◎	→	在宅医療・介護連携に関する相談件数については、増加傾向であり、関心が高まっている。引き続き相談業務を継続していく。
154		地域包括ケア推 進課	★在宅医療・介護関係者の研修(ひまわりネットワーク)	スタートアップ研修開催回数	回	3	3	3	2	66.7%	1	33.3%	1	33.3%	△	▲	▲	→	新型コロナ感染拡大の影響により、Web方式を取り入れながら実施した。引き続き医療・介護従事者向けの研修会を実施していく。
155				実践研修開催回数	回	2	2	2	1	50.0%	1	50.0%	1	50.0%	△	△	△	→	新型コロナ感染拡大の影響により、Web方式を取り入れながら実施した。引き続き医療・介護従事者向けの研修会を実施していく。
156				アドバンス研修開催回数	回	1	1	1	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	▲	▲	▲	→	令和5年度には、アドバンス研修ではなく、学会形式の実践発表会を行った。引き続きニーズを取り入れ、医療・介護従事者向けの研修会を実施していく。
157		地域包括ケア推 進課	★在宅医療・介護関係者の研修(在宅医療支援拠点ふなぼーと)	在宅医紹介制度登録医療機関数	機関	52	56	59	49	94.2%	48	85.7%	49	83.1%	○	△	△	→	在宅医紹介制度登録医療機関数については横ばいに推移した。新型コロナウイルス感染症の影響で在宅医ネット研修会がオンライン開催となった。今後も医療・介護専門職を対象とした、在宅医ネット研修会をオンラインで開催を予定している。引き続き、研修会等を通じて在宅医紹介制度登録医療機関数の増加を図っていく。
158		地域包括ケア推 進課	★在宅医療推進に係る市民への普及啓発(在宅医療支援拠点ふなぼーと、在宅医療・介護の講演会・相談会・出張講演会)	ふなぼーと市民公開講座開催回数	回	1	1	1	0	0.0%	1	100.0%	1	100.0%	▲	◎	◎	→	新型コロナウイルス感染症の影響により開催を延期していたが、5類に移行したことで予定通り年1回市民公開講座を開催することができ、市民等からも関心度の高いものとなった。今後も、開催に向けて検討を進めていく。
159				在宅医療・介護の講演会開催回数	回	7	7	7	5	71.4%	7	100.0%	7	100.0%	△	◎	◎	→	新型コロナウイルス感染症の影響により、開催を中止した講演会もあったが、5類に移行したことで予定通り開催することができ、市民からの評判も良かった。引き続き在宅医療の普及のため講演会を実施していく。
160				在宅医療・介護の相談会開催回数	回	8	8	8	6	75.0%	8	100.0%	8	100.0%	△	◎	◎	→	新型コロナウイルス感染症の影響により、開催を中止した相談会もあったが、予定通り開催することができ、市民からの評判も良かった。引き続き在宅医療の普及のため相談会を実施していく。
161				在宅医療・介護の出張講演会開催回数	回	8	8	8	0	0.0%	5	62.5%	3	37.5%	▲	△	▲	→	開催回数は目標未達であったが、開催した団体からは好評であった。今後はより効果的な周知活動を検討していく。
162		地域包括ケア推 進課	★在宅医療・介護資源の情報の把握・データベース化	「在宅医療・緩和ケア提供機関マップ」に掲載の医療機関数	機関	365	370	375	351	96.2%	372	100.5%	399	106.4%	○	◎	◎	→	毎年ひまわりマップを作成し、医療・介護関係者に配布を行った。引き続き研修会等でマップの周知を行い、認知度の向上に努めていく。
163		地域包括ケア推 進課	医療・介護関係者の情報共有の支援	システム操作体験会開催回数	回	10	10	10	10	100.0%	8	80.0%	10	100.0%	◎	△	◎	→	小規模ではあるが個別に事業所等に対し、使用方法等の説明を行った。カナミックネットワークの利用者数を増加させるため、システム操作説明会を引き続き実施することに加え、ひまわりネットワーク事務局の委員会でも運用について検討を行う。
164		地域包括ケア推 進課	★在宅医養成研修	開催回数	回	5	5	5	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	▲	▲	▲	×	新型コロナウイルス感染症の影響により事業を開始することができず、現在、千葉県がWeb開催を中心とした在宅医養成研修事業を実施しており、医師会の関係者とも協議した結果、関係者に千葉県の研修の参加を促すことで、当事業を行わないものとなった。

医療と介護の連携による継続的・一体的なサービス提供体制の確立																			
達成率について ◎ …計画目標値を達成又は上回っており、着実に計画が進んでいる(達成率100%以上) ○ …ほぼ計画目標値を達成し、このまま計画を進めていく(達成率90%~100%) △ …達成率が計画目標値に達していないものがあり、さらなる計画の推進が必要(達成率50%~90%) ▲ …達成率が計画目標値に達していないものがあり、今後事業見直しも含めた計画の推進が必要(達成率50%以下)																			
No	施策群	所管課	施策名 ★は重点項目	指標		【第8期】計画目標			【第8期】実績						【第8期】達成率			【第8期】評価	
						令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和3年度	達成率 (実績/目標値)	令和4年度	達成率 (実績/目標値)	令和5年度	達成率 (実績/目標値)	令和3年度	令和4年度	令和5年度	第9期以降 の方向性	第8期における 取組み・検討課題 などの評価を記入 ※目標値を変更した場合は、その理由と算出根拠を記入
165	在宅医療の 推進	地域包括ケア推 進課	在宅医療の推進	訪問診療件数	件	5,795	5,824	5,852	-	-	-	-	-	-	-	-	-	→	第8期計画では厚生労働省 医療施設(静態・動態)調査から算出しており、横ばいであった。しかし、前述のデータでは実数の把握が毎年確認できるものではないため、次期計画より国保データベース(KDBデータ)からの算出とする。
166				在宅医療実施医療施設数	施設	76	80	84	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	→
167		地域包括ケア推 進課	在宅医療推進のための連携体制の構築	ひまわりネットワークの症例検討会等の開催回数	回	30	30	30	20	66.7%	28	93.3%	24	80.0%	△	○	△	→	新型コロナウイルス感染症の影響を受けながらも、対面開催からwebを活用しながら、オンライン開催、ハイブリッド開催を行う、在宅医療・介護連携の関係づくりを構築してきた。
168	地域医療連 携の推進	健康政策課	★かかりつけ医、かかりつけ 歯科医、かかりつけ薬剤師・ 薬局の推進	かかりつけ医を持つ65歳以上の市民の割合	%	60.8	61.6	62.3	-	-	54.0	87.7%	-	-	-	△	-	→	かかりつけ医等推進啓発用チラシの配布に加え、小児救急ガイドブック、アクティブシニア手帳等に、かかりつけ医等の推進に関する記事を掲載するなど、かかりつけ医等の推進を図った。
169				かかりつけ歯科医を持つ65歳以上の市民の割合	%	80.0	80.0	80.0	-	-	76.8	96.0%	-	-	-	○	-	→	また、令和5年度は、かかりつけ医を持つことについて推奨する動画等を、市内デジタルサイネージにて放映し普及促進に努めた。
170				かかりつけ薬剤師・薬局を持つ65歳以上の市民の割合	%	62.7	63.5	64.2	-	-	61.1	96.2%	-	-	-	○	-	→	国では、かかりつけ医機能報告制度の創設に向けて、議論が開始され、その結果をもとに、改正法に基づく省令・告示改正や、自治体向けガイドラインの作成等を行っていきとされているため、今後の動向を注視し、対応していく。 ※実績値の算出根拠となる「高齢者生活実態調査」は3年ごとの調査であり、令和5年度は実施しないため、実績はなし。
171	看護職の確 保	健康政策課	★看護職の確保	就業看護職員数	人	4,839	4,928	5,017	-	-	5,180	105.1%	-	-	-	◎	-	-	公表されている千葉県最新の最新データが令和5年12月31日現在のものであるため、令和5年度の実績(見込み)は未入力 ※令和4年度の実績は令和4年12月31日時点の人数
172		介護保険課 地域包括ケア推 進課	★介護保険訪問看護職員雇用促進事業の実施【再掲】	補助対象常勤換算数	人	1,050	1,050	1,050	1,236.6	117.8%	1,501.2	143.0%	1,601.8	152.6%	◎	◎	◎	↗	訪問看護職員の賃金改善にかかる費用を助成した。高齢者人口の増加に伴い、訪問看護職員の需要が高まることが予想されるため、拡大して補助を実施する。
173	地域リハビリ テーションの 推進	健康政策課 地域包括ケア推 進課	★地域リハビリテーションの 推進	地域リハビリテーション拠点事業 講演会・研修会(市民対象・リハビリ関係者対象)の開催回数	回	7	7	7	8	114.3%	15	214.3%	18	257.1%	◎	◎	◎	→	一部オンライン(ZOOM)により実施した。また、町会・自治会等から、まちづくり出前講座の要望が多くあった。今後も継続して行っていく。
174				訪問リハビリ提供施設数	施設	15	16	17	14	93.3%	17	106.3%	18	105.9%	○	◎	◎	→	引き続き、在宅医療の推進のため、訪問リハの提供施設の周知をしていく。
175	歯科口腔保 健の推進	健康政策課	★訪問歯科診療の充実	訪問歯科診療事業件数(さざんか・かざぐるま)	件	1,251	1,375	1,566	1,108	88.6%	1,463	106.4%	1,599	102.1%	△	◎	◎	↗	引き続き特殊歯科事業に関する周知を図る。
176		地域保健課	★口腔保健支援事業の実施	口腔ケア講習会・市民講演会開催回数	回	3	3	3	3	100.0%	3	100.0%	3	100.0%	◎	◎	◎	→	実施についてはコロナ前の規模に戻して実施することができた。 令和6年度については会場や開催時間、講演内容を委託先である船橋歯科医師会と協議していく。

【第8期】計画書第2部第2章に記載される事業(数値目標なし)

	基本方針	施策群	事業名	上段: 令和5年度の取組みとそれに対する評価 下段: 第8期における取組み・検討課題などの評価や第9期以降の方向性などを記入	所管課
1	住まい	住宅の質の向上	住宅のバリアフリー改修等に関する相談	(一社)千葉県建築士会船橋支部、(公社)千葉県建築士事務所協会船橋支部、船橋増改築相談員協議会が相談員となり、建築住宅相談を実施した。(年60回開催) ・相談件数 75件 ・引き続き事業を実施していく。	住宅政策課
2	住まい	住宅の質の向上	賃貸住宅のバリアフリー改修等の促進	・ホームページやパンフレットを通じて、住宅セーフティネット制度の活用による登録住宅の改修に対する支援について周知した。 ・介護認定者のために住宅の改造をしようとする世帯を対象に改造資金を助成することにより、住宅のバリアフリー化を推進した。 ・引き続き周知を図っていく。 ・ホームページや福祉ガイドなどにより周知を行い、申請数は一定の水準を保ち横ばいとなっている。バリアフリー工事の助成については、介護保険課や住宅政策課、障害福祉課にも様々な制度があるため、対象者に応じた制度案内を行っていく。	住宅政策課 高齢者福祉課
3	住まい	住宅の質の向上	高齢化しているマンション管理組合の支援	(一社)千葉県マンション管理士会が相談員となり、マンション管理無料相談及びマンション管理士等派遣事業を実施した。 ・派遣件数 3件 ・引き続き事業を実施していく。	住宅政策課
4	住まい	多様な住まいの確保	質の高いサービス付き高齢者向け住宅の供給	サービス付き高齢者向け住宅の登録更新を行った。また、既に登録されているサービス付き高齢者向け住宅については、立入検査や定期報告を実施した。 ・更新件数 8件 立入検査件数 7件 ・引き続き質の高いサービス付き高齢者向け住宅を供給できるよう努める。	住宅政策課
5	予防	介護予防の推進	介護予防の推進	分析結果によりシルバーリハビリ体操の参加者が、要介護から遠ざける効果がでているので、令和5年度は、当該分析結果を踏まえ介護予防事業を推進した。6年度以降は、より効果的な分析を検討していき20年後の市内65歳以上が3割になる状況に備えていきたい。 健康スケールの回答結果と介護保険情報等のクロス分析を令和4年度に実施し、ふなばしシルバーリハビリ体操等の「通いの場」の介護予防効果が確認されたので、令和5年度はこの分析結果を広報やホームページで周知啓発したほか、市民ヘルスマーケティングにおける根拠資料として活用した。	健康づくり課

【第8期】計画書第2部第2章に記載される事業(数値目標なし)

	基本方針	施策群	事業名	上段: 令和5年度の取組みとそれに対する評価 下段: 第8期における取組み・検討課題などの評価や第9期以降の方向性などを記入	所管課
6	生活支援	移動支援	高齢ドライバーへの対応	<p>移動支援施策により、高齢者が自動車を運転する必要が無い環境整備の推進を検討するとともに、免許を返納した高齢者が割引などの特典・サービスを受けることができる「高齢者運転免許証自主返納サポート事業」を市民安全推進課が開始した。</p> <p>令和4年度に、生活支援部会にて移動支援作業部会を設置し検討したものの、当時は実施に至らなかったが、令和6年度に道路部がグリーンスローモビリティ導入事業を実施することとなった。また、「高齢者運転免許証自主返納サポート事業」は令和5年度末時点で34店舗の登録があった。運転に不安を抱える高齢者が免許証を自主返納しやすい環境づくりを推進するため、登録店舗増加に向け店舗等に働きかけていく。</p>	各関係課 (地域福祉課)
7	生活支援	地域での支え合い体制の確立	生活支援コーディネーターの活動の活性化	<p>新型コロナウイルス感染症が5月に5類感染症に移行したことにより、各地区に配置されている第2層生活支援コーディネーターは、地域ケア会議への出席など地域に根差した活動が再開できるようになった。大穴地区では社会福祉法人と連携して、買い物支援バスを運行する事業を開始するなどの実績があった。</p> <p>令和3年度・4年度は新型コロナウイルス感染症の影響により生活支援コーディネーターの活動を自粛せざるを得ない状況であったが、新型コロナウイルス感染症が令和5年度5月に5類感染症に移行したことにより、各地区に配置されている第2層生活支援コーディネーターは、地域ケア会議への出席など地域に根差した活動が再開できるようになった。また、より活動を活性化するために生活支援コーディネーター周知用のチラシを作成した。第9期以降は更なる周知を図り、新たな地域資源の発掘・ボランティアの発見に努める。</p>	地域福祉課
8	生活支援	その他	障害者の高齢化・重度化や「親亡き後」を見据えた支援体制の整備	<p>地域生活支援拠点システムにおいて、障害者や家族に対し、緊急時に備えた相談業務や受入対応、その後の支援等を行っている。また、本システムの稼働状況を定期的に確認するため、拠点運営委員会において自己評価を実施し、船橋市自立支援協議会専門部会である地域移行・福祉サービス部会へ報告を行った。</p> <p>相談・対応事例を積み上げ、関係機関との連携・情報共有を行う。また、拠点運営委員会により、当該事業にかかる定期的な振り返りを行い、支援体制のさらなる充実を図っていく。</p>	障害福祉課
9	介護	介護サービスの量の確保	特別養護老人ホームの整備	<p>第8期計画の190床のうち、残り90床の公募を行った。</p> <p>第9期計画では、施設入所の必要性が高い重度要介護高齢者が入所できるよう90床の整備を進める。</p>	高齢者福祉課課
10	介護	介護サービスの量の確保	介護老人保健施設の整備	<p>第8期計画においては、既存施設の入居率等を勘案し整備数を見込まなかったため、整備は行わなかった。</p> <p>第9期計画においても、既存施設の入居率等を勘案し整備数を見込まない。</p>	高齢者福祉課
11	介護	介護サービスの量の確保	特定施設の整備	<p>第8期計画の30床について、公募を行った。</p> <p>第8期計画では、高齢者の心身の状態に応じた多様な住まいとなる混合型について、40床の整備を進める。</p>	高齢者福祉課

【第8期】計画書第2部第2章に記載される事業(数値目標なし)

	基本方針	施策群	事業名	上段:令和5年度の取組みとそれに対する評価 下段:第8期における取組み・検討課題などの評価や第9期以降の方向性などを記入	所管課
12	介護	介護サービスの量の確保	地域密着型サービスの整備(認知症高齢者グループホーム)	第8期計画の54床について、公募を行った。 第9期計画では、今後の認知症高齢者数の増加に伴い、36床の整備を進める。	高齢者福祉課
13	介護	介護サービスの量の確保	地域密着型サービスの整備(グループホーム以外)	事前協議を随時受け付けた。 第9期計画では、「定期巡回・随時対応型訪問介護看護」及び「看護小規模多機能型居宅介護」の事前協議を随時受け付ける。	高齢者福祉課
14	介護	介護サービスの量の確保	施設整備全体	有料老人ホームの事前協議を随時受け付けた。 第9期計画では、介護が必要になっても可能な限り住み慣れた地域、居宅での生活が継続できるよう地域包括ケアシステムの構築を進めるとともに、在宅での介護が難しい重度の要介護者など、高齢者それぞれの状態に応じた多様なニーズに対応するため、第8期計画における実績や要介護認定者の増加数などを踏まえ、施設整備を進める。	高齢者福祉課
15	介護	多様なサービスの提供	生活支援コーディネーターの活動の活性化【再掲】	新型コロナウイルス感染症が5月に5類感染症に移行したことにより、各地区に配置されている第2層生活支援コーディネーターは、地域ケア会議への出席など地域に根差した活動が再開できるようになった。大穴地区では社会福祉法人と連携して、買い物支援バスを運行する事業を開始するなどの実績があった。 令和3年度・4年度は新型コロナウイルス感染症の影響により生活支援コーディネーターの活動を自粛せざるを得ない状況であったが、新型コロナウイルス感染症が令和5年度5月に5類感染症に移行したことにより、各地区に配置されている第2層生活支援コーディネーターは、地域ケア会議への出席など地域に根差した活動が再開できるようになった。また、より活動を活性化するために生活支援コーディネーター周知用のチラシを作成した。第9期以降は更なる周知を図り、新たな地域資源の発掘・ボランティアの発見に努める。	地域福祉課
16	介護	地域包括支援センターの機能強化	相談支援の充実強化	働きながら介護に取り組む家族や、仕事と介護の両立不安や悩みに対する相談支援の充実強化を図るため、日曜にフェイスビル5階の相談室にて開設している「地域包括支援センター出張相談窓口」を継続している。 働きながら介護に取り組む家族や、仕事と介護の両立不安や悩みに対する相談支援の充実強化を図るため、日曜にフェイスビル5階の相談室にて開設している「地域包括支援センター出張相談窓口」を継続して実施した。今後も本事業を通じて、相談しやすい体制の整備していく。	地域包括ケア推進課
17	介護	認知症対策の推進	みまもりあい事業	引き続きイベント等での周知を図り、アプリの利用促進につなげる。 各種イベントやまちづくり出前講座等にて周知を図り、アプリの利用促進につなげる。	地域包括ケア推進課

【第8期】計画書第2部第2章に記載される事業(数値目標なし)

基本方針	施策群	事業名	上段:令和5年度の実績とそれに対する評価 下段:第8期における取組み・検討課題などの評価や第9期以降の方向性などを記入	所管課	
18	介護	認知症対策の推進	成年後見制度の利用促進	船橋市成年後見制度利用促進基本計画に基づく中核機関(権利擁護サポートセンター)を中心に相談支援や研修等を実施した。今後さらなる支援ネットワークの強化を図る。	地域包括ケア推進課
				船橋市成年後見制度利用促進基本計画に基づく中核機関(権利擁護サポートセンター)を中心に相談支援や研修等を実施し、制度の利用促進を図ることができた。引き続き、支援ネットワークの強化を図るとともに、相談支援、啓発活動、人材の育成等を進めていく。	
19	介護	介護サービスの円滑な利用	介護サービス事業所情報の提供	市ホームページでの介護事業者情報検索システムの公開、介護事業所一覧冊子や介護サービス事業者ガイドブック『ハートページ』の配布を行い、事業所情報の提供に努めた。	介護保険課
				介護事業一覧冊子について、「新型コロナウイルス感染症に係る要介護認定の臨時的な取り扱い」終了に伴う申請件数の増加に対応するために、年度途中で増刷を行った。第9期では、引き続き事業所情報の提供に努めるとともに、必要に応じて周知媒体の発行数等の見直しを行っていく。	
20	介護	介護サービスの円滑な利用	地域共生社会の実現に向けた取り組み	地域共生社会の実現を目指すための体制整備事業である「重層的支援体制整備事業」を令和5年度から開始した。今後も庁内推進委員会などを通して、複合化・複雑化した支援ニーズに対応できる体制構築に向けた取組を行っていく。	各関係課 (福祉政策課)
21	医療	在宅医療の推進	顔の見える関係づくりの推進 (在宅医療・介護連携の課題の抽出と対応の協議)	Zoom等を活用し委員会を開催した。	地域包括ケア推進課
				引き続き在宅医療・介護連携推進のため委員会を開催する。	
22	医療	在宅医療の推進	在宅医療のコーディネーターの機能強化	本人、家族向けに在宅医療に関する普及啓発のパンフレット作成を実施。完成に向けて医療介護従事者と検討を重ねていく。	地域包括ケア推進課
				本人、家族向けに在宅医療に関する普及啓発のパンフレット作成を実施。医療介護従事者と検討を重ねた。今後は普及啓発用パンフレットを完成させ、市内、医療介護関係者を通して市民に配布を行っていく。	
23	医療	在宅医療の推進	在宅医療推進に係る市民への普及・啓発(ひまわりネットワーク)	船橋在宅医療ひまわりネットワーク市民公開講座については、新型コロナウイルス感染症の影響でオンラインで開催した。	地域包括ケア推進課
				船橋在宅医療ひまわりネットワークの委員会内で内容について検討し、引き続きの開催を目指していく。	

【第8期】計画書第2部第2章に記載される事業(数値目標なし)

	基本方針	施策群	事業名	上段: 令和5年度の取組みとそれに対する評価 下段: 第8期における取組み・検討課題などの評価や第9期以降の方向性などを記入	所管課
24	医療	在宅医療の推進	在宅医療・介護連携推進事業の評価事業	KDBや高齢者生活実態調査等を元に評価指標を整理しており、今後も調査・検討を行っていく。	地域包括ケア推進課
				KDBや高齢者生活実態調査等を元に評価指標を整理しており、今後も調査・検討を行っていく。	
25	医療	在宅医療の推進	医療・介護人材確保事業	在宅医療支援拠点ふなぽーとにおいて職業安定法に基づく無料職業紹介事業を実施し、少しずつではあるが、就職に結びついている。引き続き面接時の同行や研修会の実施等継続的に支援を実施し、介護人材確保を図る。	地域包括ケア推進課
				在宅医療支援拠点ふなぽーとにおいて職業安定法に基づく無料職業紹介事業を実施し、少しずつではあるが、就職に結びついている。引き続き面接時の同行や研修会の実施等継続的に支援を実施し、介護人材確保を図る。	